

台湾に対する意識調査 報告書

2020年12月

一般社団法人中央調査社

目次

調査の概要	1
問1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域	2
問1-1. もっとも親しみを感じるアジアの国・地域 (台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール以外)	3
問2. 台湾と聞いて思いつくこと	4
問3. これまでに台湾に行ったことがあるか	6
問3-1. これまでに台湾を訪れた回数	7
問3-2. 台湾に行った後の台湾に対する印象の変化	8
問4. 訪れたことのある場所	9
問5. 台湾に行きたいか	11
問6. 台湾に対する興味	12
問7. 台湾に対する親しみ	14
問8. 親しみを感じる理由	15
問9. 親しみを感しない理由	17
問10. 台湾に関する情報源	18
問10-1. 台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル	20
問11. 台湾に対する信頼	22
問12. 信頼できる理由	23
問13. 信頼できない理由	25
問14. 台北駐日経済文化代表処を知っているか	26
問15. 日本と台湾の関係をどう思うか	27
問16. 日本と台湾の関係は将来どうなるか	28
問17. 日本と台湾の間で最も懸念される問題	29
問18. 台湾の新型コロナウイルス感染症対策で印象に残ったこと	31
問19. 自然災害時等の日本と台湾双方の政府トップによる SNSを通じたお見舞い発信を知っているか	33
問20. 今年、台湾の観光や文化を紹介する番組や報道を目にしたか	34
問21. 力を入れて行うべき交流の分野	35
問22. 青少年交流で促進すべき分野	37
結論	39
調査項目一覧	43
主要質問時系列グラフ(2016年~2020年)	49

◎ 調査の概要

(1) 調査目的

訪台経験や情報源、台湾に関する知識等を問うことを通じて、日本人が台湾に対してどのような意識を持っているかについて明らかにすることを目的とする。

(2) 調査対象

- ① 母集団 日本全国に居住する20歳以上89歳以下の男女
- ② 標本数 1,000人

(3) 調査方法

インターネット調査（20-79歳）、電話調査（80-89歳）

(4) 調査期間

インターネット調査 2020年11月14日～11月17日

電話調査 2020年11月14日～11月26日

(5) 標本構成

母集団の構成比に合わせて、下記の通り割付けを行った。

	男性								女性								合計
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代			
北海道	2	3	3	3	4	3	2	2	3	4	3	4	4	3	43		
東北	4	5	6	5	6	5	3	4	4	5	6	7	6	5	71		
関東	22	27	35	29	25	22	10	21	25	32	26	26	26	15	341		
中部	11	12	16	13	13	12	6	9	11	15	13	14	13	9	167		
近畿	11	12	16	14	13	13	6	11	12	17	14	14	15	9	177		
中国	3	4	5	5	5	4	2	3	4	5	4	5	5	4	58		
四国	2	2	3	2	3	2	1	2	2	3	2	3	2	2	31		
九州	7	8	9	8	10	7	4	6	8	9	9	11	9	7	112		
合計	62	73	93	79	79	68	34	58	69	90	77	84	80	54	1,000		

- 北海道 北海道
- 東北 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
- 関東 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
- 中部 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
- 近畿 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
- 中国 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- 四国 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- 九州 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(6) 報告書を読む際の注意

インターネット調査では全ての質問への回答を必須としたため、「無回答」は電話調査のみ発生している。

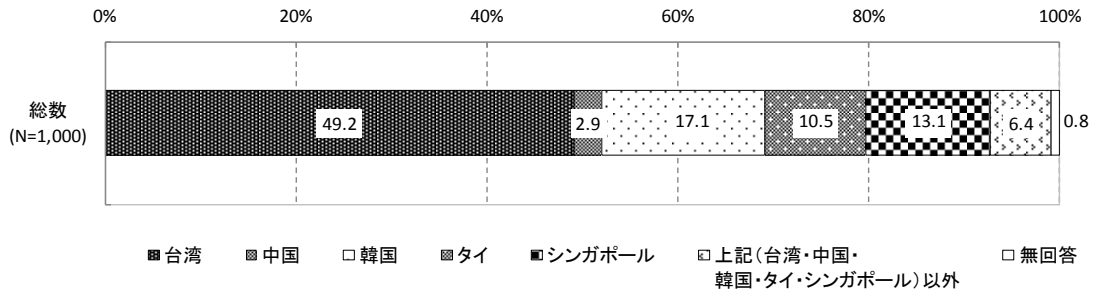
数表には参考値として2019年11月調査における回答パーセンテージを表示しているが、2019年調査と2020年調査で同一の質問および選択肢を用いたもののみ参考値を表示している。

本調査における標本誤差（信頼度95%）は下表のとおりである。

N	回答割合10% または90%	回答割合20% または80%	回答割合30% または70%	回答割合40% または60%	回答割合50%
1000	±1.9	±2.5	±2.8	±3.0	±3.1
800	±2.1	±2.8	±3.2	±3.4	±3.5
600	±2.4	±3.2	±3.7	±3.9	±4.0
400	±2.9	±3.9	±4.5	±4.8	±4.9
200	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域

問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。(答えは1つ)



もっとも親しみを感じるアジアの国・地域を「台湾」、「中国」、「韓国」、「タイ」、「シンガポール」、「それ以外」の中から選んでもらったところ、「台湾」と答えた者の割合が最も高く、49.2%だった。次いで「韓国」が17.1%、「シンガポール」が13.1%、「タイ」が10.5%、「中国」が2.9%の順となっている。

なお、「上記(台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール)以外」と答えた者は6.4%だった。

性別にみると、「台湾」と答えたのは男性で56.4%、女性で42.4%となっており、男性のほうが台湾にもっとも親しみを感じている割合が高い。

		総数	台湾	中国	韓国	タイ	シンガポール	上記(台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール)以外	無回答
総数		1,000	49.2	2.9	17.1	10.5	13.1	6.4	0.8
性別	男性	488	56.4	3.3	9.8	12.3	12.7	5.3	0.2
	女性	512	42.4	2.5	24.0	8.8	13.5	7.4	1.4
	年代								
	20歳代	120	48.3	6.7	25.0	7.5	9.2	3.3	0.0
	30歳代	142	47.2	2.8	30.3	8.5	7.7	3.5	0.0
	40歳代	183	52.5	1.1	18.6	10.4	7.7	9.8	0.0
	50歳代	156	42.3	1.9	19.2	13.5	17.3	5.8	0.0
	60歳代	163	50.3	1.2	9.8	13.5	16.0	9.2	0.0
	70歳代	148	59.5	0.7	7.4	8.1	17.6	6.8	0.0
	80歳代	88	39.8	10.2	8.0	11.4	18.2	3.4	9.1
最終学歴	中学校	40	30.0	2.5	15.0	15.0	12.5	15.0	10.0
	高等学校	318	45.9	3.1	19.2	7.9	14.5	8.8	0.6
	短大・高専・専門学校	210	46.7	1.9	23.3	7.6	13.8	5.7	1.0
	大学・大学院	426	54.9	3.1	12.7	13.4	11.7	4.2	0.0
職業	事務職	200	51.0	3.0	20.0	10.5	11.0	4.5	0.0
	管理職	74	50.0	1.4	14.9	16.2	13.5	4.1	0.0
	専門的・技術職	138	52.9	2.9	13.0	14.5	11.6	5.1	0.0
	販売・サービス職	77	58.4	6.5	13.0	5.2	11.7	5.2	0.0
	技能・労務職	61	55.7	1.6	14.8	13.1	8.2	6.6	0.0
	農林漁業	12	41.7	8.3	16.7	8.3	16.7	8.3	0.0
	主婦・主夫	245	38.8	2.9	24.9	9.4	13.5	9.8	0.8
	学生	18	55.6	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
	無職	175	52.0	2.3	8.0	9.1	18.3	6.9	3.4
地域	北海道	43	46.5	2.3	16.3	16.3	14.0	4.7	0.0
	東北	71	39.4	4.2	18.3	12.7	15.5	8.5	1.4
	関東	341	49.9	3.8	13.2	12.6	14.1	5.6	0.9
	中部	167	55.1	1.2	18.0	11.4	7.8	6.0	0.6
	近畿	177	40.7	4.5	22.6	9.0	15.3	7.9	0.0
	中国	58	58.6	1.7	13.8	8.6	10.3	5.2	1.7
	四国	31	61.3	0.0	12.9	0.0	12.9	9.7	3.2
九州	112	50.9	0.9	21.4	5.4	14.3	6.3	0.9	
参考: 2019年11月(総数)		1,000	55.0	4.5	14.2	15.9	-	9.5	0.9

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域
(台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール以外)

問1 付問 (もっとも親しみを感じるのは) 具体的にどの国・地域ですか。

国名	回答者数
フィリピン	5
ベトナム	5
インドネシア	3
ネパール	2
香港	2
マレーシア	1

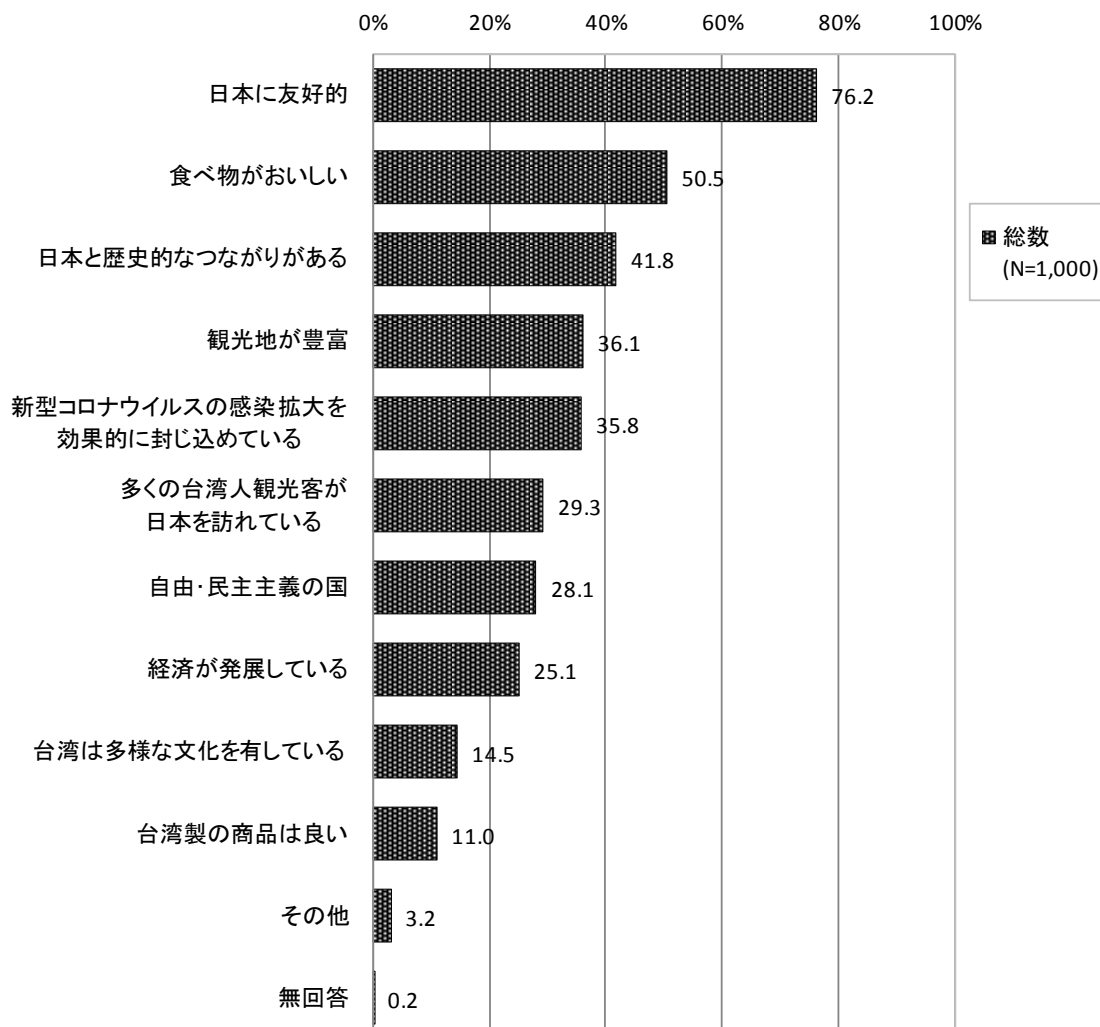
※該当者は 64 名。

※「なし」、複数の国を含む回答（「東南アジア」など）やアジア以外の地域の回答は上記集計から除外している。

もっとも親しみを感じるアジアの国・地域で、「上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール）以外」と答えた者に、具体的な国名を聞いたところ、「フィリピン」と答えた者と「ベトナム」と答えた者が同数の 5 名で最も多かった。次いで、「インドネシア」3 名、「ネパール」と「香港」が同数で 2 名、「マレーシア」1 名となっている。

台湾と聞いて思いつくこと

問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



「台湾」と聞いて思いつくことを聞いたところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、76.2%だった。続いて「食べ物がおいしい」が50.5%、「日本と歴史的なつながりがある」が41.8%、「観光地が豊富」36.1%、「新型コロナウイルスの感染拡大を効果的に封じ込めている」35.8%、「多くの台湾人観光客が日本を訪れている」29.3%、「自由・民主主義の国」28.1%、「経済が発展している」25.1%、「台湾は多様な文化を有している」14.5%、「台湾製の商品は良い」11.0%となっている。

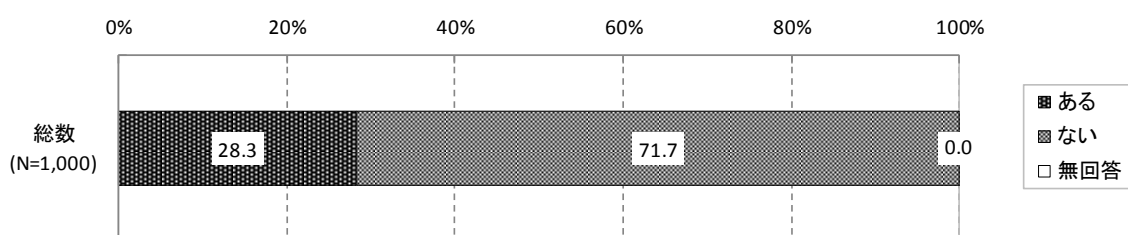
性別にみると、男女ともに「日本に友好的」が最も高い。次いで、男性では「日本と歴史的なつながりがある」、「食べ物がおいしい」、「自由・民主主義の国」の順に高く、女性では「食べ物がおいしい」、「日本と歴史的なつながりがある」、「観光地が豊富」の順に高くなっている。

		総数	日本に 友好的	自由・民主 主義の国	経済が発展 している	食べ物 が おいしい	観光地が 豊富	日本と 歴史的な つながり がある	台湾製の 商品は 良い	多くの台湾人 観光客が日 本を訪れて いる
総数		1,000	76.2	28.1	25.1	50.5	36.1	41.8	11.0	29.3
性別	男性	488	83.8	38.5	33.6	48.2	37.9	48.8	15.2	30.9
	女性	512	68.9	18.2	17.0	52.7	34.4	35.2	7.0	27.7
	20歳代	120	70.0	20.8	15.0	55.0	53.3	35.8	11.7	35.8
年代	30歳代	142	73.2	16.9	19.7	54.9	35.2	28.9	8.5	20.4
	40歳代	183	77.0	17.5	20.2	43.2	25.7	29.5	8.2	22.4
	50歳代	156	79.5	24.4	21.8	49.4	29.5	41.0	10.3	23.1
	60歳代	163	79.8	33.7	26.4	52.8	34.4	50.3	11.7	31.9
	70歳代	148	82.4	43.2	33.1	43.9	35.1	54.7	12.8	39.2
	80歳代	88	64.8	48.9	47.7	61.4	52.3	60.2	17.0	38.6
	最終 学歴	中学校	40	62.5	32.5	27.5	50.0	37.5	40.0	5.0
高等学校		318	70.4	22.3	19.2	38.7	28.3	37.1	7.2	25.2
短大・高専・専門学校		210	71.4	20.0	21.0	53.3	36.7	31.0	11.0	25.2
大学・大学院		426	84.3	35.9	31.0	58.2	41.5	50.5	14.3	34.0
職業	事務職	200	78.0	17.0	20.0	49.0	36.5	32.0	10.0	29.0
	管理職	74	83.8	36.5	39.2	51.4	36.5	50.0	6.8	24.3
	専門的・技術職	138	84.8	32.6	29.0	52.9	38.4	49.3	14.5	24.6
	販売・サービス職	77	76.6	22.1	16.9	53.2	42.9	37.7	10.4	26.0
	技能・労務職	61	80.3	21.3	19.7	37.7	24.6	31.1	9.8	27.9
	農林漁業	12	50.0	25.0	41.7	50.0	41.7	50.0	8.3	25.0
	主婦・主夫	245	66.5	22.9	18.4	50.2	31.0	38.8	6.9	28.6
	学生	18	61.1	33.3	22.2	55.6	44.4	33.3	16.7	27.8
	無職	175	79.4	45.7	36.0	53.1	40.6	53.7	17.1	38.9
	地域	北海道	43	72.1	30.2	23.3	44.2	41.9	32.6	16.3
東北		71	77.5	26.8	22.5	40.8	38.0	36.6	7.0	32.4
関東		341	78.3	30.5	27.3	56.3	33.7	42.8	11.4	27.9
中部		167	76.6	22.8	23.4	52.1	35.9	35.3	11.4	26.3
近畿		177	70.1	27.1	24.9	46.3	38.4	44.1	10.2	27.7
中国		58	86.2	31.0	24.1	41.4	37.9	43.1	15.5	31.0
四国		31	74.2	35.5	32.3	58.1	38.7	58.1	6.5	32.3
九州		112	75.0	26.8	22.3	48.2	34.8	46.4	9.8	30.4
参考:2019年11月(総数)		1,000	76.8	21.2	22.7	52.1	34.4	40.9	8.2	29.9

		総数	台湾は 多様な文化 を有して いる	新型コロナウイ ルス感染症の 拡大を効果的 に封じ込めて いる	その他	無回答
総数		1,000	14.5	35.8	3.2	0.2
性別	男性	488	16.0	38.1	2.7	0.0
	女性	512	13.1	33.6	3.7	0.4
	20歳代	120	18.3	24.2	1.7	0.0
年代	30歳代	142	10.6	30.3	2.1	0.0
	40歳代	183	10.9	27.3	7.1	0.0
	50歳代	156	11.5	34.6	2.6	0.0
	60歳代	163	12.9	41.7	2.5	0.0
	70歳代	148	17.6	54.1	2.7	0.0
	80歳代	88	26.1	38.6	2.3	2.3
	最終 学歴	中学校	40	17.5	27.5	2.5
高等学校		318	10.4	32.7	4.4	0.3
短大・高専・専門学校		210	11.9	29.5	3.3	0.0
大学・大学院		426	18.3	42.0	2.3	0.0
職業	事務職	200	12.0	26.5	3.5	0.0
	管理職	74	9.5	37.8	4.1	0.0
	専門的・技術職	138	15.9	37.7	2.9	0.0
	販売・サービス職	77	13.0	27.3	1.3	0.0
	技能・労務職	61	9.8	24.6	4.9	0.0
	農林漁業	12	33.3	58.3	0.0	0.0
	主婦・主夫	245	13.1	39.6	3.7	0.8
	学生	18	27.8	27.8	0.0	0.0
	無職	175	20.0	45.7	2.9	0.0
	地域	北海道	43	18.6	44.2	7.0
東北		71	9.9	29.6	2.8	0.0
関東		341	13.2	40.8	3.2	0.3
中部		167	13.2	32.9	1.8	0.0
近畿		177	15.8	32.8	5.1	0.0
中国		58	12.1	25.9	0.0	0.0
四国		31	35.5	41.9	3.2	0.0
九州		112	15.2	33.9	2.7	0.9
参考:2019年11月(総数)		1,000	19.1	-	3.1	0.0

これまでに台湾に行ったことがあるか

問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。(答えは1つ)



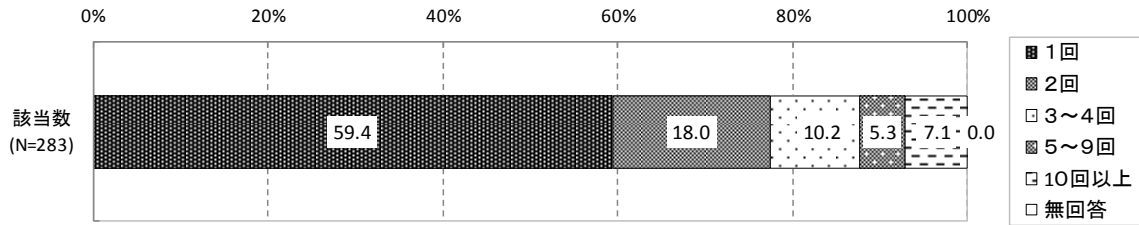
これまでに台湾に行ったことがあるか聞いたところ、「行ったことがある」と答えたのは28.3%、「行ったことがない」と答えたのは71.7%だった。

年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合が高かったのは60歳代以上で、3割台となっている。50歳代以下では「行ったことがない」と答えた者の割合が高く、7～8割台となっている。

		総数	ある	ない	無回答
総数		1,000	28.3	71.7	0.0
性別	男性	488	29.1	70.9	0.0
	女性	512	27.5	72.5	0.0
年代	20歳代	120	26.7	73.3	0.0
	30歳代	142	24.6	75.4	0.0
	40歳代	183	19.1	80.9	0.0
	50歳代	156	26.9	73.1	0.0
	60歳代	163	33.1	66.9	0.0
	70歳代	148	37.8	62.2	0.0
	80歳代	88	33.0	67.0	0.0
最終学歴	中学校	40	12.5	87.5	0.0
	高等学校	318	20.8	79.2	0.0
	短大・高専・専門学校	210	24.8	75.2	0.0
	大学・大学院	426	37.1	62.9	0.0
職業	事務職	200	28.5	71.5	0.0
	管理職	74	27.0	73.0	0.0
	専門的・技術職	138	35.5	64.5	0.0
	販売・サービス職	77	27.3	72.7	0.0
	技能・労務職	61	16.4	83.6	0.0
	農林漁業	12	33.3	66.7	0.0
	主婦・主夫	245	25.7	74.3	0.0
	学生	18	16.7	83.3	0.0
	無職	175	32.0	68.0	0.0
地域	北海道	43	18.6	81.4	0.0
	東北	71	11.3	88.7	0.0
	関東	341	32.8	67.2	0.0
	中部	167	29.3	70.7	0.0
	近畿	177	28.2	71.8	0.0
	中国	58	22.4	77.6	0.0
	四国	31	22.6	77.4	0.0
	九州	112	32.1	67.9	0.0
参考:2019年11月(総数)		1,000	26.9	73.1	0.0

これまでに台湾を訪れた回数

問3付問1 あなたは、これまでに何度台湾を訪れましたか。



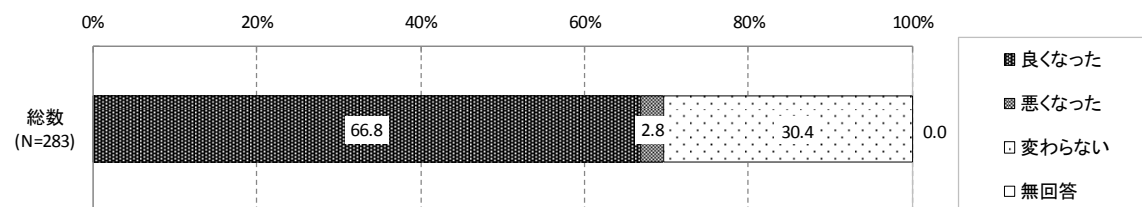
「これまでに台湾に行ったことがある」と答えた者に、訪台回数を聞いたところ、「1回」と答えたのは59.4%、「2回」と答えたのは18.0%、「3～4回」と答えたのは10.2%、「5～9回」と答えたのは5.3%、「10回以上」と答えたのは7.1%だった。

性別にみると、「2回以上」訪れた者は男性で47.2%、女性で34.1%だった。

		該当数	1回	2回	3～4回	5～9回	10回以上	無回答
総数		283	59.4	18.0	10.2	5.3	7.1	0.0
性別	男性	142	52.8	20.4	10.6	6.3	9.9	0.0
	女性	141	66.0	15.6	9.9	4.3	4.3	0.0
年代	20歳代	32	53.1	18.8	15.6	6.3	6.3	0.0
	30歳代	35	62.9	17.1	8.6	0.0	11.4	0.0
	40歳代	35	54.3	17.1	11.4	11.4	5.7	0.0
	50歳代	42	71.4	19.0	2.4	2.4	4.8	0.0
	60歳代	54	57.4	13.0	16.7	7.4	5.6	0.0
	70歳代	56	53.6	16.1	12.5	7.1	10.7	0.0
	80歳代	29	65.5	31.0	0.0	0.0	3.4	0.0
	最終 学歴	中学校	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
高等学校		66	69.7	18.2	3.0	3.0	6.1	0.0
短大・高専・専門学校		52	69.2	11.5	9.6	5.8	3.8	0.0
大学・大学院		158	51.9	19.0	13.9	6.3	8.9	0.0
職業	事務職	57	50.9	21.1	12.3	3.5	12.3	0.0
	管理職	20	70.0	10.0	5.0	5.0	10.0	0.0
	専門的・技術職	49	53.1	20.4	10.2	8.2	8.2	0.0
	販売・サービス職	21	47.6	28.6	14.3	9.5	0.0	0.0
	技能・労務職	10	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	63	71.4	14.3	9.5	1.6	3.2	0.0
	学生	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	無職	56	57.1	17.9	7.1	8.9	8.9	0.0
地域	北海道	8	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	東北	8	75.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	関東	112	47.3	25.0	13.4	8.0	6.3	0.0
	中部	49	63.3	18.4	8.2	0.0	10.2	0.0
	近畿	50	60.0	14.0	16.0	6.0	4.0	0.0
	中国	13	84.6	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0
	四国	7	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0
	九州	36	66.7	11.1	5.6	2.8	13.9	0.0
参考:2019年11月(総数)		269	60.2	19.3	10.8	4.5	5.2	0.0

台湾に行った後の台湾に対する印象の変化

問3付問2 台湾に行った後、あなたの台湾に対する印象はどのように変わりましたか。(答えは1つ)

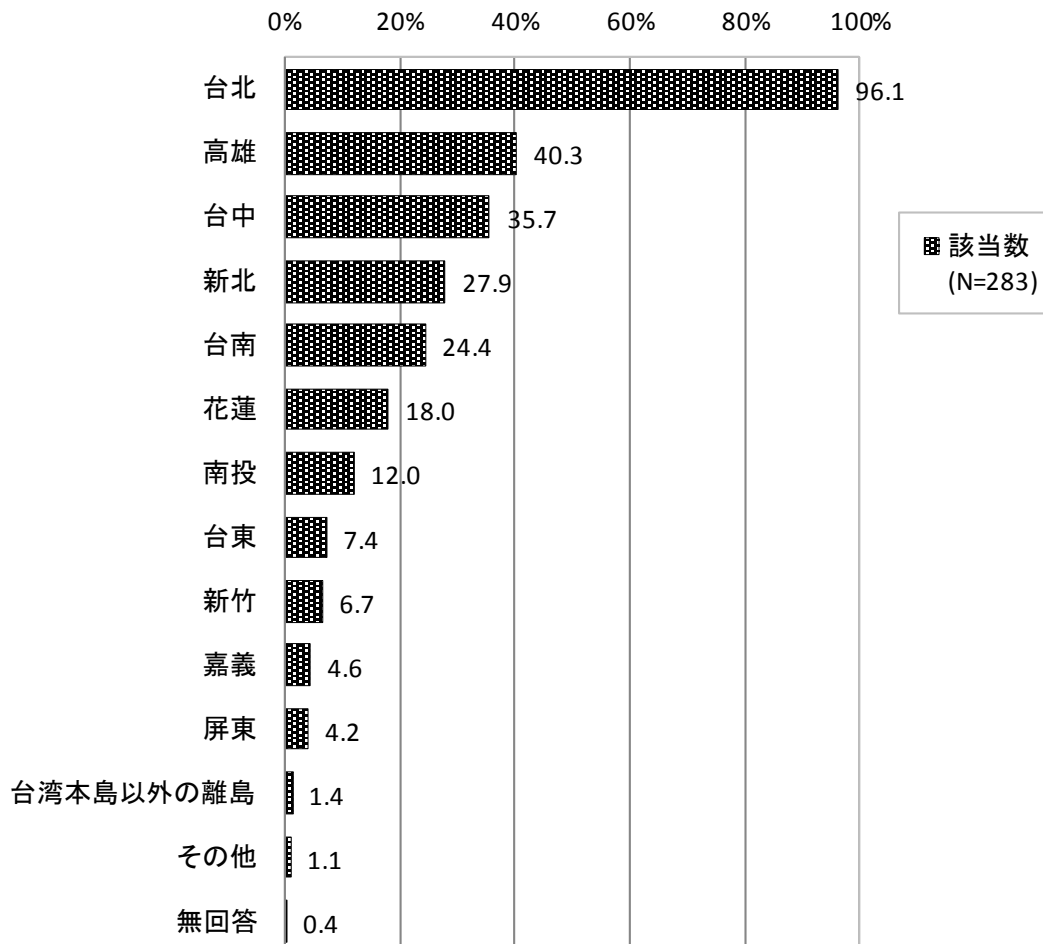


「台湾に行ったことがある」と答えた者に、台湾に行った後台湾に対する印象はどのように変わったかを聞いたところ、「良くなった」と答えたのは66.8%、「悪くなった」と答えたのは2.8%、「変わらない」と答えたのは30.4%だった。

		該当数	良くなった	悪くなった	変わらない	無回答
総数		283	66.8	2.8	30.4	0.0
性別	男性	142	66.2	2.1	31.7	0.0
	女性	141	67.4	3.5	29.1	0.0
年代	20歳代	32	68.8	12.5	18.8	0.0
	30歳代	35	85.7	0.0	14.3	0.0
	40歳代	35	68.6	0.0	31.4	0.0
	50歳代	42	66.7	0.0	33.3	0.0
	60歳代	54	68.5	0.0	31.5	0.0
	70歳代	56	55.4	7.1	37.5	0.0
	80歳代	29	58.6	0.0	41.4	0.0
	最終学歴	中学校	5	60.0	0.0	40.0
高等学校		66	59.1	1.5	39.4	0.0
短大・高専・専門学校		52	63.5	5.8	30.8	0.0
大学・大学院		158	71.5	2.5	25.9	0.0
職業	事務職	57	77.2	3.5	19.3	0.0
	管理職	20	80.0	0.0	20.0	0.0
	専門的・技術職	49	67.3	2.0	30.6	0.0
	販売・サービス職	21	66.7	9.5	23.8	0.0
	技能・労務職	10	50.0	0.0	50.0	0.0
	農林漁業	4	50.0	0.0	50.0	0.0
	主婦・主夫	63	55.6	4.8	39.7	0.0
	学生	3	66.7	0.0	33.3	0.0
	無職	56	67.9	0.0	32.1	0.0
地域	北海道	8	62.5	0.0	37.5	0.0
	東北	8	62.5	12.5	25.0	0.0
	関東	112	66.1	3.6	30.4	0.0
	中部	49	59.2	4.1	36.7	0.0
	近畿	50	74.0	0.0	26.0	0.0
	中国	13	76.9	0.0	23.1	0.0
	四国	7	57.1	0.0	42.9	0.0
	九州	36	69.4	2.8	27.8	0.0

訪れたことのある場所

問4 あなたがこれまでに訪れたことのある場所を次の中からすべてお答えください。(複数回答可)



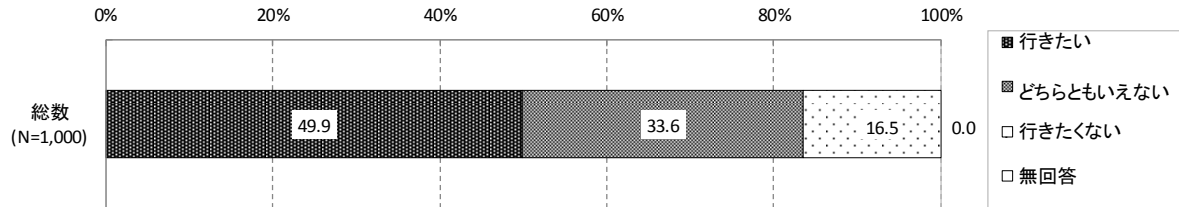
「これまでに台湾に行ったことがある」と答えた者に、訪れたことのある場所を選んでもらったところ、「台北」をあげた者の割合が最も高く 96.1%、次いで「高雄」40.3%、「台中」35.7%、「新北」27.9%、「台南」24.4%、「花蓮」18.0%、「南投」12.0%、「台東」7.4%、「新竹」6.7%、「嘉義」4.6%、「屏東」4.2%、「台湾本島以外の離島」1.4%の順となっている。

		該当数	台北	新北	新竹	台中	南投	嘉義	台南	高雄
総数		283	96.1	27.9	6.7	35.7	12.0	4.6	24.4	40.3
性別	男性	142	97.9	32.4	10.6	40.1	12.7	5.6	28.2	50.7
	女性	141	94.3	23.4	2.8	31.2	11.3	3.5	20.6	29.8
年代	20歳代	32	93.8	37.5	12.5	37.5	9.4	3.1	21.9	28.1
	30歳代	35	100.0	42.9	5.7	25.7	2.9	0.0	11.4	17.1
	40歳代	35	100.0	31.4	5.7	20.0	11.4	2.9	20.0	40.0
	50歳代	42	97.6	14.3	4.8	26.2	7.1	2.4	11.9	16.7
	60歳代	54	100.0	35.2	1.9	44.4	16.7	3.7	31.5	55.6
	70歳代	56	96.4	25.0	14.3	51.8	23.2	8.9	42.9	62.5
	80歳代	29	79.3	6.9	0.0	31.0	3.4	10.3	17.2	44.8
	最終 学歴	中学校	5	100.0	0.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0
高等学校		66	90.9	13.6	1.5	31.8	6.1	3.0	22.7	39.4
短大・高専・専門学校		52	94.2	30.8	7.7	36.5	15.4	5.8	28.8	38.5
大学・大学院		158	98.7	34.2	8.9	36.7	13.3	3.8	23.4	39.9
職業	事務職	57	100.0	35.1	7.0	35.1	12.3	5.3	26.3	33.3
	管理職	20	95.0	15.0	5.0	25.0	10.0	0.0	10.0	35.0
	専門的・技術職	49	98.0	36.7	8.2	30.6	8.2	4.1	20.4	32.7
	販売・サービス職	21	95.2	33.3	14.3	57.1	23.8	4.8	28.6	57.1
	技能・労務職	10	90.0	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	40.0	60.0
	農林漁業	4	75.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	75.0
	主婦・主夫	63	90.5	23.8	4.8	33.3	12.7	4.8	22.2	34.9
	学生	3	100.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
	無職	56	100.0	23.2	7.1	44.6	14.3	7.1	30.4	50.0
	地域	北海道	8	100.0	0.0	12.5	62.5	0.0	12.5	25.0
東北		8	87.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5	25.0	37.5
関東		112	98.2	34.8	5.4	33.9	17.9	2.7	21.4	51.8
中部		49	93.9	20.4	6.1	28.6	6.1	6.1	22.4	28.6
近畿		50	96.0	28.0	8.0	40.0	8.0	4.0	26.0	26.0
中国		13	100.0	38.5	0.0	38.5	0.0	0.0	15.4	46.2
四国		7	85.7	14.3	28.6	42.9	28.6	0.0	71.4	57.1
九州		36	94.4	25.0	5.6	36.1	11.1	8.3	27.8	33.3
参考:2019年11月(総数)		269	96.7	23.8	7.4	30.9	11.9	6.3	23.0	40.5

		該当数	屏東	台東	花蓮	台湾本島 以外の 離島	その他	無回答
総数		283	4.2	7.4	18.0	1.4	1.1	0.4
性別	男性	142	7.0	10.6	18.3	1.4	2.1	0.0
	女性	141	1.4	4.3	17.7	1.4	0.0	0.7
年代	20歳代	32	12.5	15.6	15.6	6.3	0.0	0.0
	30歳代	35	8.6	8.6	5.7	0.0	0.0	0.0
	40歳代	35	2.9	5.7	8.6	0.0	0.0	0.0
	50歳代	42	2.4	2.4	7.1	2.4	0.0	0.0
	60歳代	54	1.9	3.7	25.9	0.0	0.0	0.0
	70歳代	56	3.6	12.5	33.9	1.8	3.6	0.0
	80歳代	29	0.0	3.4	17.2	0.0	3.4	3.4
	最終 学歴	中学校	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校		66	0.0	1.5	7.6	0.0	1.5	1.5
短大・高専・専門学校		52	1.9	7.7	25.0	1.9	0.0	0.0
大学・大学院		158	7.0	10.1	20.3	1.9	1.3	0.0
職業	事務職	57	8.8	14.0	15.8	1.8	0.0	0.0
	管理職	20	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0
	専門的・技術職	49	6.1	4.1	18.4	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	21	4.8	4.8	9.5	4.8	0.0	0.0
	技能・労務職	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	農林漁業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	63	0.0	3.2	20.6	0.0	0.0	0.0
	学生	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	56	3.6	12.5	30.4	3.6	5.4	0.0
	地域	北海道	8	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0
東北		8	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5
関東		112	5.4	8.9	19.6	1.8	0.0	0.0
中部		49	4.1	10.2	10.2	2.0	0.0	0.0
近畿		50	4.0	4.0	24.0	2.0	4.0	0.0
中国		13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
四国		7	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	0.0
九州		36	5.6	2.8	13.9	0.0	2.8	0.0
参考:2019年11月(総数)		269	-	4.8	18.6	1.5	0.7	0.0

台湾に行きたいか

問5 今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、あなたは台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



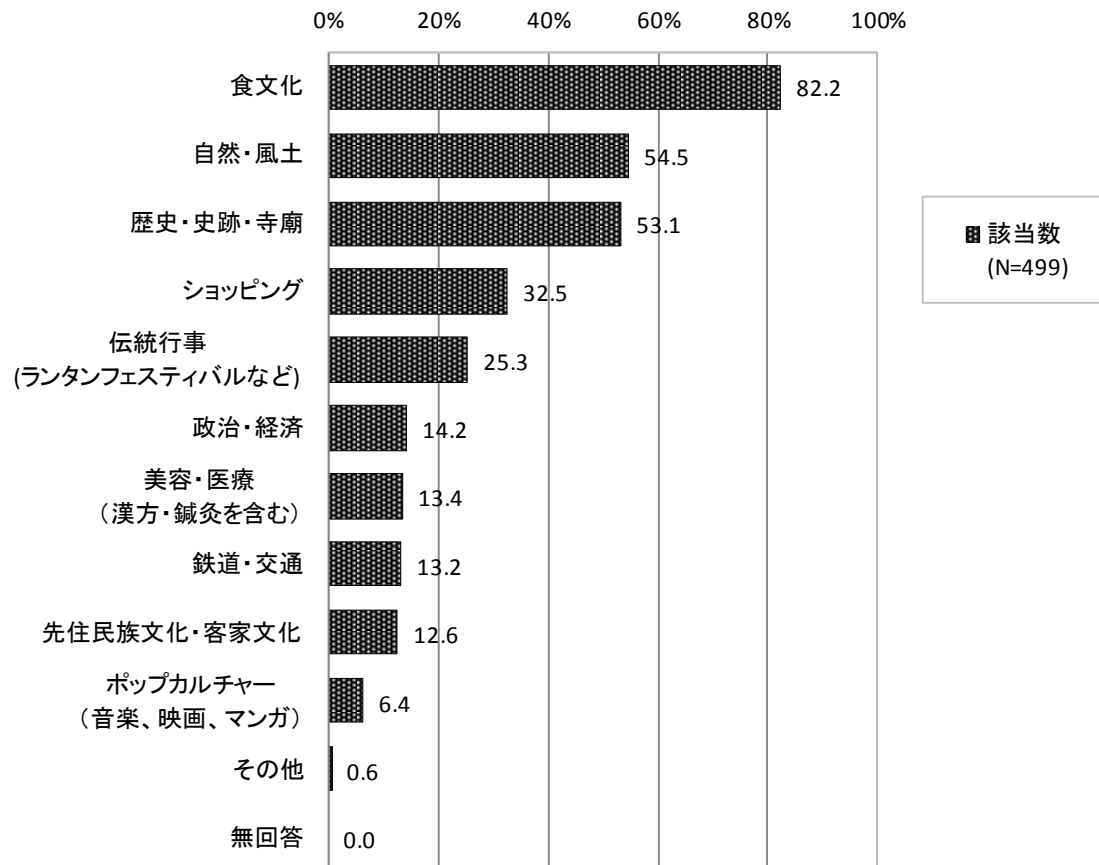
今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、台湾に行きたいか聞いたところ、「行きたい」と答えたのは49.9%、「どちらともいえない」と答えたのは33.6%、「行きたくない」と答えたのは16.5%だった。

性別にみると、「行きたい」と答えたのは男性で53.9%、女性で46.1%と男性のほうが高い。年代別にみると、20歳代と30歳代で「行きたい」が6割台と高くなっている。

		総数	行きたい	どちらともいえない	行きたくない	無回答
総数		1,000	49.9	33.6	16.5	0.0
性別	男性	488	53.9	35.7	10.5	0.0
	女性	512	46.1	31.6	22.3	0.0
年代	20歳代	120	65.0	25.0	10.0	0.0
	30歳代	142	60.6	32.4	7.0	0.0
	40歳代	183	49.7	36.6	13.7	0.0
	50歳代	156	51.9	35.9	12.2	0.0
	60歳代	163	47.9	40.5	11.7	0.0
	70歳代	148	43.2	39.2	17.6	0.0
	80歳代	88	23.9	14.8	61.4	0.0
最終学歴	中学校	40	37.5	22.5	40.0	0.0
	高等学校	318	36.5	38.4	25.2	0.0
	短大・高専・専門学校	210	49.0	35.2	15.7	0.0
	大学・大学院	426	62.2	30.3	7.5	0.0
職業	事務職	200	56.0	31.0	13.0	0.0
	管理職	74	60.8	32.4	6.8	0.0
	専門的・技術職	138	63.0	34.1	2.9	0.0
	販売・サービス職	77	55.8	28.6	15.6	0.0
	技能・労務職	61	49.2	37.7	13.1	0.0
	農林漁業	12	33.3	25.0	41.7	0.0
	主婦・主夫	245	42.4	34.7	22.9	0.0
	学生	18	61.1	33.3	5.6	0.0
	無職	175	36.0	36.6	27.4	0.0
地域	北海道	43	48.8	39.5	11.6	0.0
	東北	71	29.6	43.7	26.8	0.0
	関東	341	56.3	28.7	15.0	0.0
	中部	167	49.7	34.7	15.6	0.0
	近畿	177	48.0	33.3	18.6	0.0
	中国	58	53.4	32.8	13.8	0.0
	四国	31	38.7	45.2	16.1	0.0
	九州	112	48.2	35.7	16.1	0.0
参考:2019年11月(総数)		1,000	57.3	30.9	11.8	0.0

台湾に対する興味

問6 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。(複数回答可)



今後台湾に行きたいと答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者の割合が最も高く、82.2%だった。次いで、「自然・風土」54.5%、「歴史・史跡・寺廟」53.1%、「ショッピング」32.5%、「伝統行事（ランタンフェスティバルなど）」25.3%、「政治・経済」14.2%、「美容・医療（漢方・鍼灸を含む）」13.4%、「鉄道・交通」13.2%、「先住民族文化・客家文化」12.6%、「ポップカルチャー（音楽、映画、マンガ）」6.4%の順となっている。

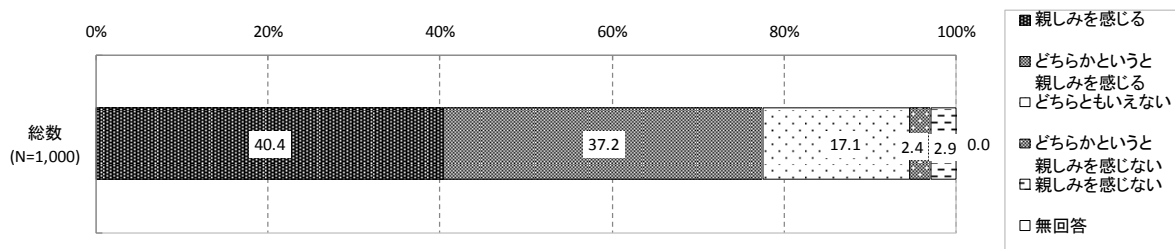
性別にみると、「自然・風土」、「歴史・史跡・寺廟」では男性のほうが高く、「ショッピング」では女性のほうが高くなっている。

		該当数	自然・風土	政治・経済	食文化	歴史・史跡・ 寺廟	伝統行事 (ランタンフェス ティバルなど)	ショッピング	美容・医療 (漢方・鍼灸を 含む)	ポップカル チャー(音楽、 映画、マンガ)	
総数		499	54.5	14.2	82.2	53.1	25.3	32.5	13.4	6.4	
性別	男性	263	59.7	18.6	82.5	56.3	19.8	25.5	5.3	5.7	
	女性	236	48.7	9.3	81.8	49.6	31.4	40.3	22.5	7.2	
年代	20歳代	78	51.3	16.7	80.8	37.2	35.9	42.3	20.5	14.1	
	30歳代	86	45.3	19.8	84.9	43.0	23.3	32.6	15.1	7.0	
	40歳代	91	49.5	9.9	85.7	42.9	19.8	34.1	17.6	4.4	
	50歳代	81	40.7	9.9	82.7	58.0	22.2	27.2	9.9	6.2	
	60歳代	78	65.4	16.7	82.1	70.5	29.5	34.6	6.4	5.1	
	70歳代	64	73.4	9.4	75.0	70.3	17.2	20.3	10.9	1.6	
	80歳代	21	81.0	23.8	81.0	61.9	38.1	38.1	9.5	4.8	
	最終 学歴	中学校	15	40.0	6.7	86.7	33.3	6.7	40.0	6.7	0.0
	高等学校	116	52.6	8.6	76.7	44.8	17.2	27.6	10.3	5.2	
	短大・高専・専門学校	103	44.7	10.7	80.6	54.4	26.2	44.7	19.4	4.9	
	大学・大学院	265	60.0	18.5	84.9	57.4	29.4	29.4	12.8	7.9	
職業	事務職	112	53.6	15.2	82.1	47.3	25.9	36.6	16.1	7.1	
	管理職	45	37.8	17.8	84.4	60.0	17.8	17.8	4.4	0.0	
	専門的・技術職	87	54.0	18.4	88.5	55.2	23.0	28.7	10.3	8.0	
	販売・サービス職	43	60.5	11.6	79.1	46.5	27.9	34.9	20.9	9.3	
	技能・労務職	30	46.7	6.7	70.0	36.7	3.3	33.3	6.7	0.0	
	農林漁業	4	75.0	0.0	50.0	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	
	主婦・主夫	104	51.9	10.6	80.8	53.8	36.5	43.3	20.2	7.7	
	学生	11	36.4	18.2	81.8	36.4	36.4	27.3	0.0	9.1	
	無職	63	74.6	15.9	84.1	66.7	22.2	22.2	9.5	6.3	
	地域	北海道	21	47.6	14.3	81.0	61.9	33.3	28.6	0.0	14.3
		東北	21	42.9	14.3	95.2	38.1	9.5	42.9	9.5	0.0
関東		192	54.7	15.1	80.7	50.0	25.5	27.1	17.2	7.8	
中部		83	59.0	10.8	84.3	49.4	20.5	42.2	12.0	7.2	
近畿		85	51.8	21.2	83.5	63.5	28.2	32.9	10.6	5.9	
中国		31	64.5	3.2	64.5	64.5	19.4	38.7	9.7	0.0	
四国		12	50.0	16.7	91.7	66.7	50.0	41.7	25.0	0.0	
九州		54	53.7	11.1	85.2	46.3	27.8	27.8	13.0	5.6	
参考:2019年11月(総数)		573	51.0	7.3	81.7	56.0	28.8	29.7	12.6	4.7	

		該当数	鉄道・交通	先住民族文 化・客家文化	その他	無回答	
総数		499	13.2	12.6	0.6	0.0	
性別	男性	263	19.8	12.5	1.1	0.0	
	女性	236	5.9	12.7	0.0	0.0	
年代	20歳代	78	12.8	6.4	0.0	0.0	
	30歳代	86	10.5	3.5	0.0	0.0	
	40歳代	91	15.4	8.8	0.0	0.0	
	50歳代	81	9.9	9.9	0.0	0.0	
	60歳代	78	16.7	15.4	0.0	0.0	
	70歳代	64	9.4	29.7	3.1	0.0	
	80歳代	21	28.6	38.1	4.8	0.0	
	最終 学歴	中学校	15	20.0	6.7	0.0	0.0
	高等学校	116	7.8	12.9	0.0	0.0	
	短大・高専・専門学校	103	9.7	9.7	1.9	0.0	
	大学・大学院	265	16.6	14.0	0.4	0.0	
職業	事務職	112	11.6	8.9	0.0	0.0	
	管理職	45	13.3	4.4	0.0	0.0	
	専門的・技術職	87	12.6	13.8	0.0	0.0	
	販売・サービス職	43	18.6	9.3	0.0	0.0	
	技能・労務職	30	10.0	0.0	0.0	0.0	
	農林漁業	4	50.0	25.0	0.0	0.0	
	主婦・主夫	104	7.7	16.3	1.0	0.0	
	学生	11	45.5	9.1	0.0	0.0	
	無職	63	15.9	25.4	3.2	0.0	
	地域	北海道	21	14.3	28.6	0.0	0.0
		東北	21	0.0	9.5	0.0	0.0
関東		192	14.1	12.0	1.0	0.0	
中部		83	10.8	9.6	0.0	0.0	
近畿		85	16.5	11.8	0.0	0.0	
中国		31	12.9	12.9	0.0	0.0	
四国		12	16.7	25.0	0.0	0.0	
九州		54	13.0	13.0	1.9	0.0	
参考:2019年11月(総数)		573	9.4	11.3	0.5	0.2	

台湾に対する親しみ

問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)

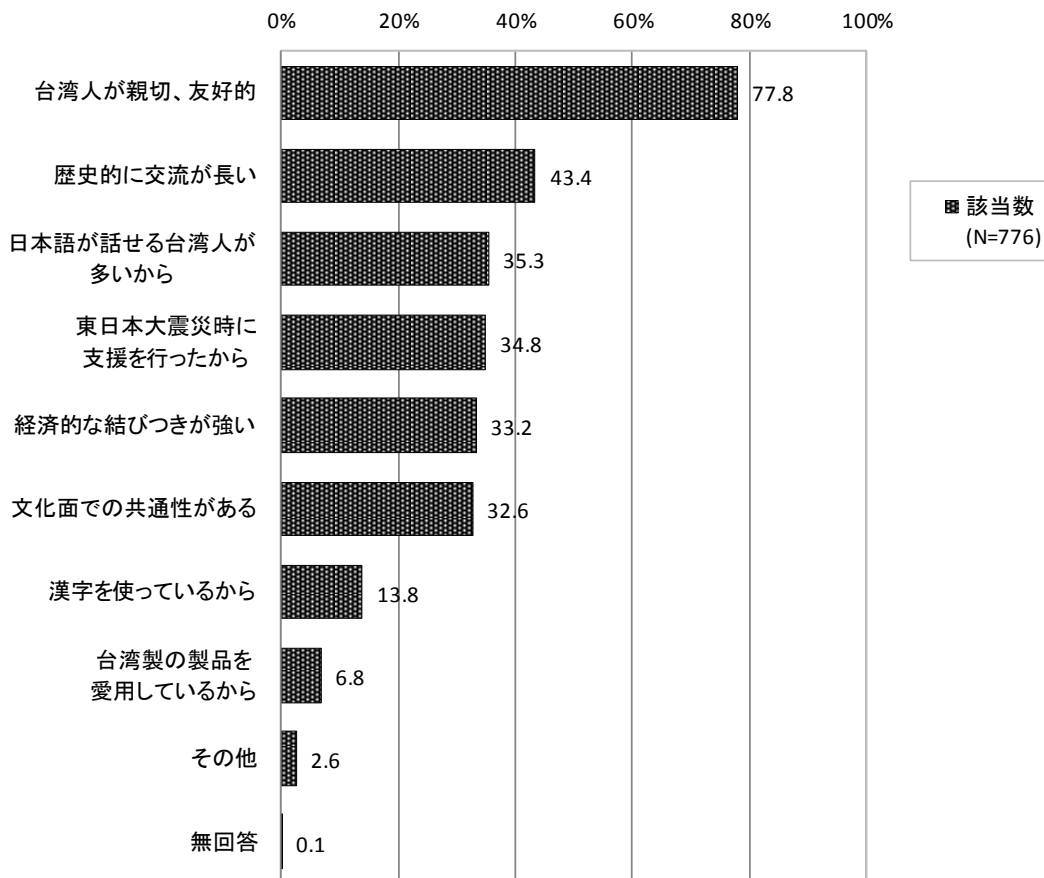


台湾に親しみを感じるか聞いたところ、「親しみを感じる」と答えたのは40.4%、「どちらかという親しみを感じる」と答えたのは37.2%、「どちらともいえない」と答えたのは17.1%、「どちらかという親しみを感しない」と答えたのは2.4%、「親しみを感しない」と答えたのは2.9%だった。「親しみを感じる(計)」「親しみを感じる」+「どちらかという親しみを感じる」と答えた者は77.6%だった。

		総数	親しみを 感じる	どちらか という 親しみを 感じる	どちらとも いえない	どちらかとい うと 親しみを 感しない	親しみを 感しない	無回答
総数		1,000	40.4	37.2	17.1	2.4	2.9	0.0
性別	男性	488	47.7	36.7	14.1	0.4	1.0	0.0
	女性	512	33.4	37.7	19.9	4.3	4.7	0.0
年代	20歳代	120	43.3	40.0	12.5	0.8	3.3	0.0
	30歳代	142	40.1	33.1	18.3	4.2	4.2	0.0
	40歳代	183	36.1	39.9	19.7	0.5	3.8	0.0
	50歳代	156	39.1	40.4	14.1	4.5	1.9	0.0
	60歳代	163	44.8	34.4	19.6	0.6	0.6	0.0
	70歳代	148	38.5	44.6	12.2	2.7	2.0	0.0
	80歳代	88	43.2	21.6	25.0	4.5	5.7	0.0
最終 学歴	中学校	40	42.5	20.0	22.5	7.5	7.5	0.0
	高等学校	318	29.2	38.4	23.6	4.7	4.1	0.0
	短大・高専・専門学校	210	35.2	41.0	18.1	2.4	3.3	0.0
	大学・大学院	426	51.4	35.9	11.0	0.2	1.4	0.0
職業	事務職	200	41.0	37.5	16.5	1.0	4.0	0.0
	管理職	74	56.8	25.7	14.9	1.4	1.4	0.0
	専門的・技術職	138	50.0	36.2	10.9	1.4	1.4	0.0
	販売・サービス職	77	44.2	35.1	16.9	1.3	2.6	0.0
	技能・労務職	61	34.4	42.6	19.7	1.6	1.6	0.0
	農林漁業	12	25.0	33.3	33.3	8.3	0.0	0.0
	主婦・主夫	245	28.6	40.8	20.8	5.7	4.1	0.0
	学生	18	27.8	66.7	5.6	0.0	0.0	0.0
	無職	175	44.6	33.7	17.7	1.1	2.9	0.0
	地域	北海道	43	34.9	39.5	23.3	2.3	0.0
	東北	71	38.0	40.8	11.3	4.2	5.6	0.0
	関東	341	47.2	32.8	15.0	2.3	2.6	0.0
	中部	167	35.9	41.9	18.0	3.0	1.2	0.0
	近畿	177	37.3	35.6	19.8	1.7	5.6	0.0
	中国	58	32.8	48.3	17.2	1.7	0.0	0.0
	四国	31	35.5	35.5	25.8	3.2	0.0	0.0
	九州	112	40.2	37.5	17.0	1.8	3.6	0.0
参考:2019年11月(総数)		1,000	37.8	40.3	15.8	2.3	3.8	0.0

親しみを感じる理由

問8 親しみを感じる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾に対して「親しみを感じる」、「どちらかという親しみを感じる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「台湾人が親切、友好的」をあげた者の割合が最も高く 77.8%だった。次いで「歴史的に交流が長い」43.4%、「日本語が話せる台湾人が多いから」35.3%、「東日本大震災時に支援を行ったから」34.8%、「経済的な結びつきが強い」33.2%、「文化面での共通性がある」32.6%、「漢字を使っているから」13.8%、「台湾製の製品を愛用しているから」6.8%の順となっている。

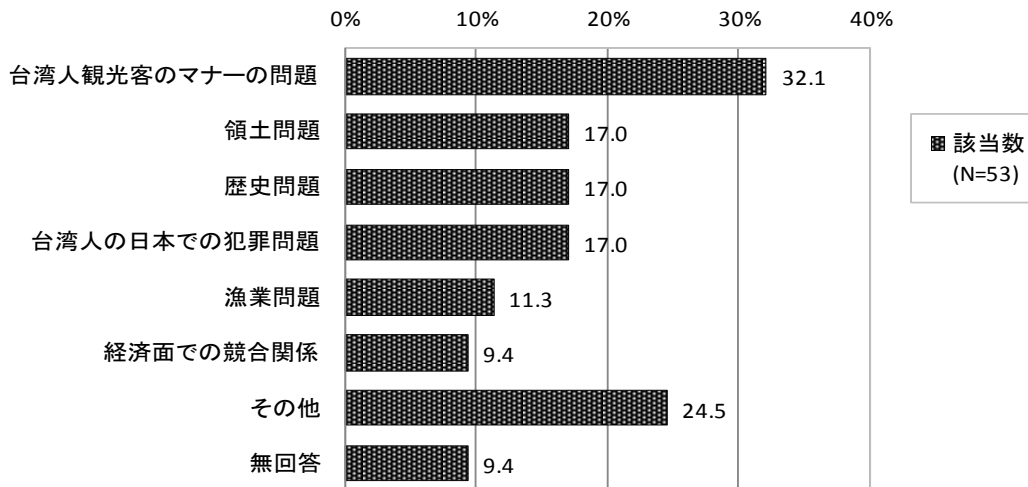
性別にみると、「経済的な結びつきが強い」をあげた者の割合は男性のほうが高い。

		該当数	台湾人が親切、友好的	経済的な結びつきが強い	文化面での共通性がある	歴史的に交流が長い	東日本大震災時に支援を行ったから	台湾製の製品を愛用しているから	漢字を使っているから
総数		776	77.8	33.2	32.6	43.4	34.8	6.8	13.8
性別	男性	412	78.6	39.3	38.3	48.3	36.2	8.7	15.0
	女性	364	76.9	26.4	26.1	37.9	33.2	4.7	12.4
年代	20歳代	100	85.0	27.0	33.0	34.0	31.0	11.0	18.0
	30歳代	104	76.9	27.9	29.8	23.1	31.7	5.8	9.6
	40歳代	139	77.7	28.8	23.0	36.0	24.5	5.8	10.8
	50歳代	124	81.5	29.8	30.6	39.5	39.5	4.8	6.5
	60歳代	129	80.6	41.1	38.0	56.6	38.0	6.2	12.4
	70歳代	123	72.4	38.2	37.4	60.2	38.2	6.5	14.6
	80歳代	57	64.9	43.9	42.1	57.9	47.4	10.5	38.6
最終学歴	中学校	25	68.0	48.0	28.0	44.0	40.0	8.0	20.0
	高等学校	215	75.3	29.8	27.0	38.6	33.5	5.6	11.6
	短大・高専・専門学校	160	76.3	27.5	28.1	35.6	30.0	6.3	15.6
	大学・大学院	372	80.9	36.8	38.4	49.5	36.8	7.8	13.7
職業	事務職	157	79.0	28.0	31.8	40.1	29.9	8.3	11.5
	管理職	61	82.0	45.9	31.1	47.5	37.7	1.6	8.2
	専門的・技術職	119	81.5	36.1	31.1	43.7	27.7	9.2	10.9
	販売・サービス職	61	83.6	34.4	34.4	36.1	41.0	9.8	14.8
	技能・労務職	47	78.7	21.3	29.8	31.9	34.0	4.3	6.4
	農林漁業	7	71.4	28.6	42.9	57.1	42.9	0.0	28.6
	主婦・主夫	170	72.9	28.2	24.7	40.0	33.5	4.7	14.7
	学生	17	82.4	29.4	35.3	23.5	41.2	0.0	29.4
	無職	137	74.5	41.6	44.5	58.4	43.1	8.8	19.7
地域	北海道	32	62.5	25.0	43.8	37.5	34.4	9.4	18.8
	東北	56	73.2	30.4	28.6	39.3	39.3	5.4	21.4
	関東	273	80.6	34.1	35.5	44.7	37.0	7.0	15.0
	中部	130	78.5	26.9	27.7	36.2	33.1	6.9	9.2
	近畿	129	76.7	41.1	28.7	48.1	33.3	7.8	14.0
	中国	47	78.7	40.4	31.9	42.6	36.2	8.5	14.9
	四国	22	77.3	54.5	36.4	54.5	40.9	4.5	13.6
九州	87	78.2	24.1	34.5	46.0	27.6	4.6	9.2	
参考:2019年11月(総数)		781	77.6	29.6	32.8	46.0	36.2	3.8	13.7

		該当数	日本語が話せる台湾人が多いから	その他	無回答
総数		776	35.3	2.6	0.1
性別	男性	412	36.7	2.2	0.0
	女性	364	33.8	3.0	0.3
年代	20歳代	100	40.0	2.0	0.0
	30歳代	104	28.8	1.9	0.0
	40歳代	139	29.5	5.0	0.0
	50歳代	124	27.4	2.4	0.0
	60歳代	129	38.0	0.8	0.0
	70歳代	123	42.3	3.3	0.0
	80歳代	57	49.1	1.8	1.8
最終学歴	中学校	25	44.0	0.0	0.0
	高等学校	215	37.7	1.4	0.5
	短大・高専・専門学校	160	36.3	4.4	0.0
	大学・大学院	372	33.1	2.7	0.0
職業	事務職	157	29.9	1.9	0.0
	管理職	61	26.2	1.6	0.0
	専門的・技術職	119	29.4	3.4	0.0
	販売・サービス職	61	45.9	3.3	0.0
	技能・労務職	47	36.2	2.1	0.0
	農林漁業	7	42.9	0.0	0.0
	主婦・主夫	170	35.3	2.9	0.6
	学生	17	35.3	5.9	0.0
	無職	137	45.3	2.2	0.0
地域	北海道	32	31.3	0.0	0.0
	東北	56	28.6	1.8	0.0
	関東	273	35.5	3.3	0.0
	中部	130	33.1	3.8	0.0
	近畿	129	34.1	3.1	0.0
	中国	47	48.9	0.0	0.0
	四国	22	40.9	0.0	0.0
九州	87	36.8	1.1	1.1	
参考:2019年11月(総数)		781	31.2	3.1	0.0

親しみを感じない理由

問9 親しみを感じない理由は何ですか。(複数回答可)



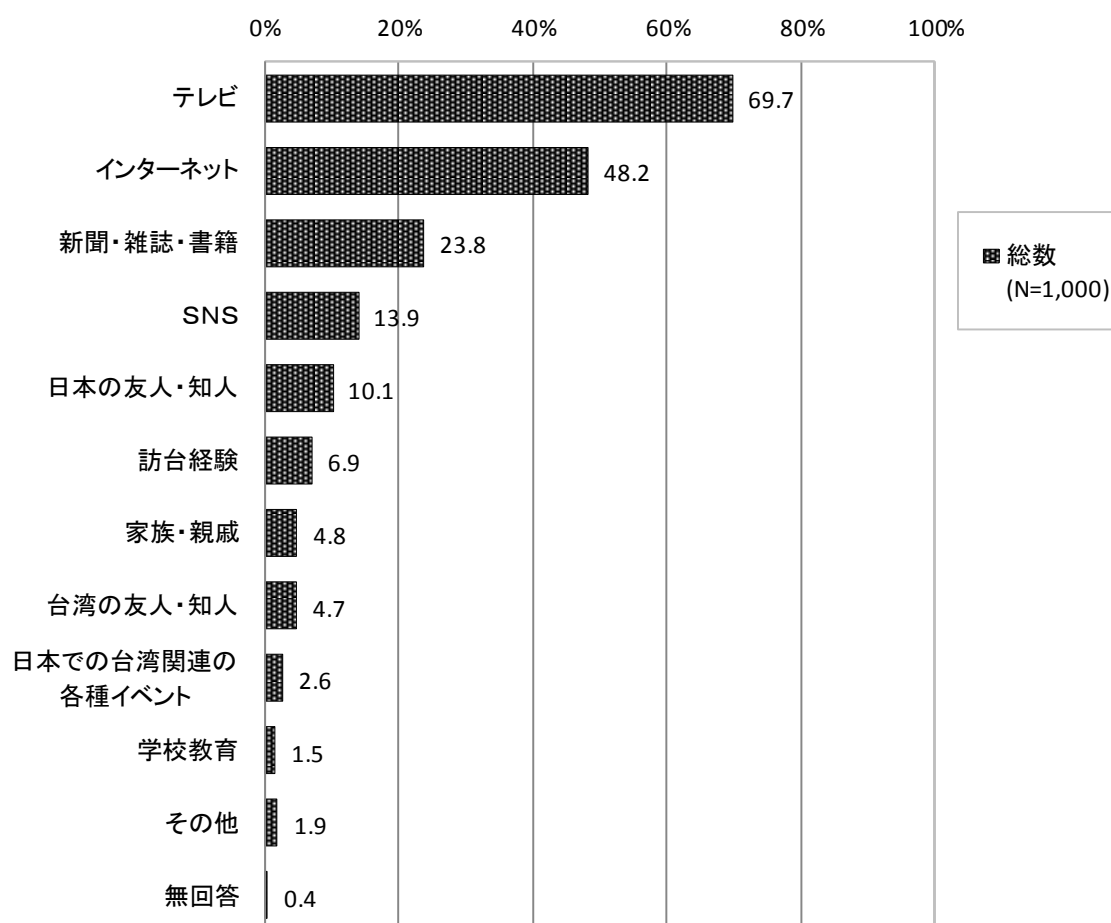
台湾に対して「どちらかというとな親しみを感じない」「親しみを感じない」と答えた者(53人)に、その理由を聞いたところ、「台湾人観光客のマナーの問題」をあげた者の割合が32.1%(17人)で最も多く、続いて「領土問題」、「歴史問題」、「台湾人の日本での犯罪問題」が同数で17.0%(9人)、「漁業問題」が11.3%(6人)、「経済面での競合関係」9.4%(5人)となっている。

「その他」24.5%(13人)の中では、具体的な理由として“関係がない”、“興味がない”、“よく知らない”など、個人的に「台湾についての知識や関心がない」ことを述べた者が多かった。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	台湾人の日本での犯罪問題	台湾人観光客のマナーの問題	その他	無回答
総数		53	11.3	9.4	17.0	17.0	17.0	32.1	24.5	9.4
性別	男性	7	28.6	14.3	28.6	28.6	57.1	28.6	14.3	0.0
	女性	46	8.7	8.7	15.2	15.2	10.9	32.6	26.1	10.9
年代	20歳代	5	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	30歳代	12	16.7	8.3	8.3	16.7	25.0	50.0	16.7	0.0
	40歳代	8	12.5	0.0	37.5	25.0	12.5	12.5	50.0	0.0
	50歳代	10	10.0	10.0	0.0	10.0	30.0	30.0	10.0	0.0
	60歳代	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	70歳代	7	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	28.6	42.9	0.0
	80歳代	9	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	55.6
	最終学歴	中学校	6	16.7	16.7	50.0	50.0	33.3	33.3	0.0
	高等学校	28	3.6	10.7	10.7	3.6	17.9	28.6	28.6	7.1
	短大・高専・専門学校	12	25.0	8.3	25.0	33.3	16.7	41.7	25.0	0.0
	大学・大学院	7	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	28.6	28.6	14.3
職業	事務職	10	20.0	20.0	30.0	50.0	20.0	200.0	20.0	0.0
	管理職	2	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	200.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	技能・労務職	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
	農林漁業	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	24	8.3	8.3	16.7	12.5	8.3	700.0	33.3	12.5
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	7	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	57.1	28.6	28.6
		北海道	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
地域	東北	7	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3
	関東	17	11.8	17.6	5.9	11.8	0.0	35.3	17.6	11.8
	中部	7	0.0	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0	28.6	0.0
	近畿	13	15.4	7.7	30.8	30.8	15.4	46.2	30.8	7.7
	中国	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	四国	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	九州	6	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	33.3	16.7	16.7
	参考:2019年11月(総数)	61	18.0	11.5	9.8	9.8	14.8	49.2	34.4	1.6

台湾に関する情報源

問10 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。(複数回答可)



台湾に関する情報源について聞いたところ、「テレビ」をあげた者の割合が最も高く、69.7%だった。次いで、「インターネット（ニュースサイト、YouTube、ブログなど）」48.2%、「新聞・雑誌・書籍」23.8%、「SNS」13.9%、「日本の友人・知人」10.1%、「訪台経験」6.9%、「家族・親戚」4.8%、「台湾の友人・知人」4.7%、「日本での台湾関連の各種イベント」2.6%、「学校教育」1.5%の順となっている。

性別にみると、男女とも「テレビ」が1位となっている。次いで多い「インターネット」をあげた者の割合は男性で59.0%、女性で37.9%となっており、男性で高い。

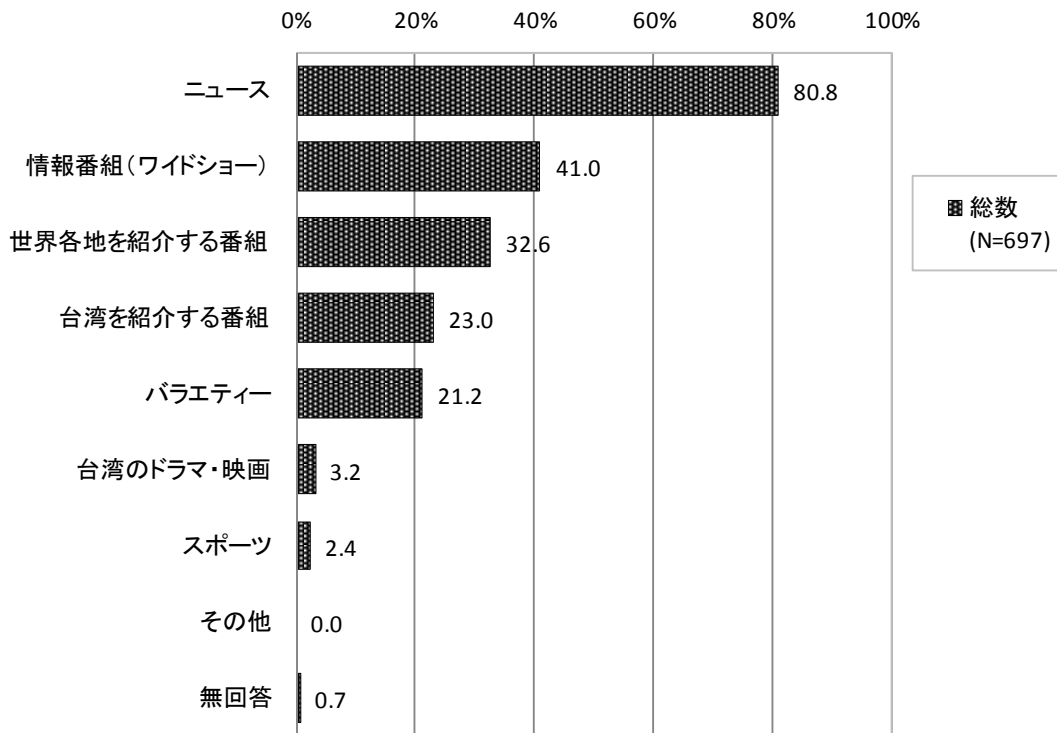
年代別にみると、すべての年代で「テレビ」が1位となっている。「SNS」をあげた者の割合は、20歳代で最も高く48.3%、次いで30歳代で20.4%と、40歳代以上で2割未満であるのと比べて高い。「新聞・雑誌・書籍」をあげた者の割合は、50歳代以上で2割以上となっており、40歳代以下で1割前後であるのと比べて高い。

		総数	テレビ	インター ネット	SNS	新聞・ 雑誌・ 書籍	訪台経験	家族・親戚	台湾の 友人・知人	日本の 友人・知人	学校教育	日本での 台湾関連の 各種イベント
総数		1,000	69.7	48.2	13.9	23.8	6.9	4.8	4.7	10.1	1.5	2.6
性別	男性	488	69.5	59.0	13.1	26.8	8.8	3.7	5.5	8.8	2.3	2.9
	女性	512	69.9	37.9	14.6	20.9	5.1	5.9	3.9	11.3	0.8	2.3
年代	20歳代	120	58.3	55.0	48.3	12.5	4.2	6.7	6.7	15.0	3.3	3.3
	30歳代	142	59.2	52.1	20.4	12.7	4.2	4.9	12.0	6.3	1.4	2.1
	40歳代	183	70.5	52.5	14.8	10.9	4.9	3.3	4.9	9.8	0.5	4.9
	50歳代	156	68.6	53.2	10.3	24.4	5.1	3.2	2.6	12.2	1.9	1.9
	60歳代	163	79.8	55.2	3.7	28.2	9.8	6.7	1.2	6.7	1.2	1.2
	70歳代	148	73.6	47.3	1.4	37.8	12.8	4.1	3.4	9.5	1.4	1.4
	80歳代	88	77.3	3.4	1.1	51.1	6.8	5.7	2.3	13.6	1.1	3.4
	中学校	40	82.5	20.0	5.0	27.5	5.0	2.5	2.5	20.0	5.0	2.5
最終 学歴	高等学校	318	70.4	37.4	5.7	20.1	4.7	1.6	1.9	6.6	1.6	1.3
	短大・高専・専門学校	210	69.0	45.2	14.3	21.0	3.3	6.2	5.2	9.5	0.5	2.4
	大学・大学院	426	67.8	61.0	20.9	27.5	10.3	6.8	6.8	12.2	1.6	3.8
職業	事務職	200	66.5	54.0	24.5	20.0	6.0	4.5	7.0	9.0	3.0	4.5
	管理職	74	68.9	64.9	12.2	27.0	8.1	1.4	1.4	10.8	1.4	4.1
	専門的・技術職	138	60.1	63.8	18.1	17.4	9.4	4.3	5.8	11.6	1.4	1.4
	販売・サービス職	77	67.5	59.7	23.4	22.1	10.4	9.1	7.8	6.5	1.3	2.6
	技能・労務職	61	67.2	50.8	9.8	9.8	1.6	1.6	1.6	8.2	1.6	3.3
	農林漁業	12	58.3	33.3	8.3	50.0	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	0.0
	主婦・主夫	245	74.7	32.2	8.2	24.1	6.1	6.5	4.1	10.2	0.4	1.6
	学生	18	50.0	61.1	33.3	11.1	0.0	0.0	16.7	11.1	0.0	0.0
	無職	175	78.9	38.3	2.9	36.6	7.4	4.6	1.1	12.0	1.7	2.3
	地域	北海道	43	79.1	51.2	9.3	16.3	4.7	2.3	0.0	7.0	0.0
東北		71	83.1	31.0	7.0	21.1	2.8	1.4	2.8	4.2	2.8	1.4
関東		341	67.7	49.9	16.7	27.0	7.9	5.9	7.3	9.7	2.1	2.9
中部		167	64.1	50.3	18.0	25.7	4.2	4.2	4.2	12.0	1.2	1.2
近畿		177	67.8	48.6	10.7	22.0	9.6	5.6	4.0	11.3	1.1	4.5
中国		58	74.1	50.0	8.6	24.1	5.2	6.9	1.7	10.3	0.0	5.2
四国		31	77.4	41.9	12.9	22.6	6.5	6.5	3.2	3.2	0.0	0.0
九州		112	70.5	50.0	13.4	18.8	8.0	2.7	3.6	13.4	1.8	1.8
参考:2019年11月(総数)		1,000	73.2	45.6	13.0	28.3	7.5	5.6	5.2	9.0	1.9	4.3

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.9	0.4
性別	男性	488	1.2	0.2
	女性	512	2.5	0.6
年代	20歳代	120	1.7	0.0
	30歳代	142	0.7	0.0
	40歳代	183	4.4	0.0
	50歳代	156	0.6	0.0
	60歳代	163	1.2	0.0
	70歳代	148	3.4	0.0
	80歳代	88	0.0	4.5
	中学校	40	0.0	2.5
最終 学歴	高等学校	318	3.1	0.6
	短大・高専・専門学校	210	2.9	0.5
	大学・大学院	426	0.7	0.0
職業	事務職	200	3.0	0.0
	管理職	74	0.0	0.0
	専門的・技術職	138	1.4	0.0
	販売・サービス職	77	1.3	0.0
	技能・労務職	61	4.9	0.0
	農林漁業	12	0.0	0.0
	主婦・主夫	245	2.0	0.8
	学生	18	0.0	0.0
	無職	175	1.1	1.1
	地域	北海道	43	2.3
東北		71	1.4	0.0
関東		341	1.8	0.9
中部		167	1.8	0.0
近畿		177	1.7	0.6
中国		58	0.0	0.0
四国		31	3.2	0.0
九州		112	3.6	0.0
参考:2019年11月(総数)		1,000	1.7	0.6

台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンル

問10付問 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。(複数回答可)



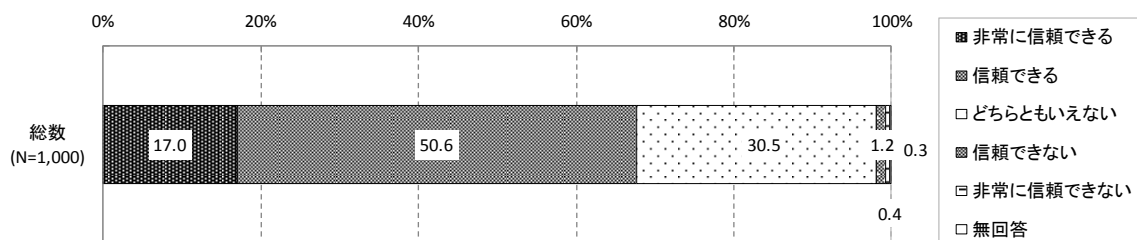
台湾に関する情報源として「テレビ」をあげた者に、どのような番組で台湾に関する情報を得ているか聞いたところ、「ニュース」の割合が最も高く、80.8%だった。次いで、「情報番組(ワイドショー)」41.0%、「世界各地を紹介する番組」32.6%、「台湾を紹介する番組」23.0%、「バラエティー」21.2%、「台湾のドラマ・映画」3.2%、「スポーツ」2.4%の順となっている。

		該当者	ニュース	情報番組 (ワイドショー)	バラエティー	世界各地を 紹介する 番組	台湾を 紹介する 番組	台湾のドラマ・ 映画	スポーツ
総数		697	80.8	41.0	21.2	32.6	23.0	3.2	2.4
性別	男性	339	81.7	41.6	23.9	34.5	26.0	2.9	4.1
	女性	358	79.9	40.5	18.7	30.7	20.1	3.4	0.8
年代	20歳代	70	77.1	38.6	48.6	41.4	17.1	5.7	4.3
	30歳代	84	72.6	40.5	27.4	23.8	16.7	2.4	2.4
	40歳代	129	79.8	39.5	19.4	26.4	17.8	0.8	1.6
	50歳代	107	80.4	46.7	25.2	37.4	19.6	2.8	3.7
	60歳代	130	82.3	41.5	17.7	33.8	28.5	5.4	0.8
	70歳代	109	86.2	48.6	11.0	41.3	39.4	2.8	0.9
	80歳代	68	85.3	25.0	5.9	22.1	14.7	2.9	5.9
	最終 学歴	中学校	33	93.9	27.3	12.1	12.1	12.1	3.0
	高等学校	224	79.5	37.5	18.8	25.9	17.0	1.8	2.7
	短大・高専・専門学校	145	76.6	42.1	18.6	31.7	23.4	3.4	1.4
	大学・大学院	289	82.4	45.3	26.0	40.5	28.7	4.2	2.8
職業	事務職	133	78.9	48.1	31.6	30.8	20.3	2.3	0.8
	管理職	51	94.1	31.4	11.8	37.3	31.4	2.0	3.9
	専門的・技術職	83	73.5	37.3	25.3	37.3	22.9	3.6	2.4
	販売・サービス職	52	71.2	36.5	30.8	38.5	28.8	3.8	7.7
	技能・労務職	41	78.0	36.6	31.7	14.6	17.1	2.4	4.9
	農林漁業	7	71.4	28.6	28.6	42.9	14.3	0.0	0.0
	主婦・主夫	183	82.0	39.3	17.5	30.1	20.8	4.4	1.1
	学生	9	88.9	33.3	22.2	44.4	22.2	0.0	0.0
	無職	138	84.8	46.4	10.1	34.8	25.4	2.9	2.9
	地域	北海道	34	70.6	50.0	20.6	38.2	29.4	2.9
	東北	59	88.1	35.6	18.6	28.8	13.6	3.4	0.0
	関東	231	81.4	43.3	21.6	35.9	22.5	2.6	3.5
	中部	107	85.0	43.0	20.6	31.8	26.2	2.8	0.9
	近畿	120	77.5	33.3	18.3	27.5	21.7	5.0	2.5
	中国	43	79.1	39.5	14.0	30.2	23.3	0.0	4.7
	四国	24	91.7	45.8	33.3	37.5	29.2	4.2	0.0
	九州	79	74.7	43.0	27.8	31.6	24.1	3.8	0.0
参考: 2019年11月(総数)		732	76.2	43.4	23.9	37.2	25.3	3.1	6.1

		該当者	その他	無回答
総数		697	0.0	0.7
性別	男性	339	0.0	0.6
	女性	358	0.0	0.8
年代	20歳代	70	0.0	0.0
	30歳代	84	0.0	0.0
	40歳代	129	0.0	0.0
	50歳代	107	0.0	0.0
	60歳代	130	0.0	0.0
	70歳代	109	0.0	0.0
	80歳代	68	0.0	7.4
	最終 学歴	中学校	33	0.0
	高等学校	224	0.0	0.0
	短大・高専・専門学校	145	0.0	0.0
	大学・大学院	289	0.0	0.7
職業	事務職	133	0.0	0.0
	管理職	51	0.0	0.0
	専門的・技術職	83	0.0	0.0
	販売・サービス職	52	0.0	0.0
	技能・労務職	41	0.0	0.0
	農林漁業	7	0.0	14.3
	主婦・主夫	183	0.0	0.5
	学生	9	0.0	0.0
	無職	138	0.0	2.2
	地域	北海道	34	0.0
	東北	59	0.0	1.7
	関東	231	0.0	0.4
	中部	107	0.0	0.9
	近畿	120	0.0	0.0
	中国	43	0.0	0.0
	四国	24	0.0	0.0
	九州	79	0.0	1.3
参考: 2019年11月(総数)		732	0.3	0.1

台湾に対する信頼

問11 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



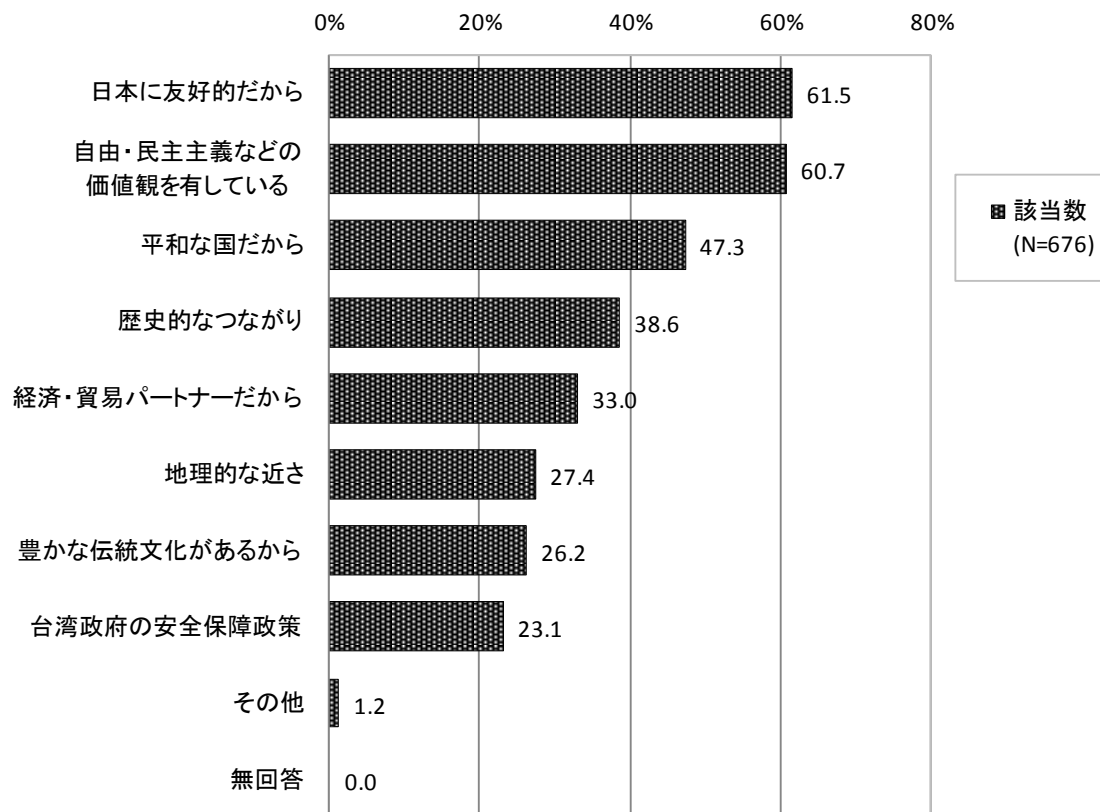
台湾は信頼できるか聞いたところ、「非常に信頼できる」と答えたのは17.0%、「信頼できる」と答えたのは50.6%、「どちらともいえない」と答えたのは30.5%、「信頼できない」と答えたのは1.2%、「非常に信頼できない」と答えたのは0.4%だった。「信頼できる(計)」「非常に信頼できる」+「信頼できる」と答えた者の割合は67.6%と、60%を超えており、「信頼できない(計)」「信頼できない」+「非常に信頼できない」と答えた者は1.6%で、ごく少数となっている。

年代別にみると、すべての年代で「信頼できる(計)」「非常に信頼できる」+「信頼できる」が60%を超えている。

		総数	非常に信頼できる	信頼できる	どちらともいえない	信頼できない	非常に信頼できない	無回答
総数		1,000	17.0	50.6	30.5	1.2	0.4	0.3
性別	男性	488	23.8	53.3	21.5	1.0	0.2	0.2
	女性	512	10.5	48.0	39.1	1.4	0.6	0.4
	年代							
	20歳代	120	23.3	45.8	27.5	3.3	0.0	0.0
	30歳代	142	17.6	44.4	35.2	1.4	1.4	0.0
	40歳代	183	20.8	41.5	37.7	0.0	0.0	0.0
	50歳代	156	15.4	52.6	29.5	1.9	0.6	0.0
	60歳代	163	14.7	57.1	28.2	0.0	0.0	0.0
	70歳代	148	12.8	63.5	22.3	0.7	0.7	0.0
	80歳代	88	13.6	48.9	31.8	2.3	0.0	3.4
最終学歴	中学校	40	22.5	42.5	30.0	0.0	0.0	5.0
	高等学校	318	9.4	47.8	40.3	2.2	0.3	0.0
	短大・高専・専門学校	210	12.9	47.1	37.6	1.0	1.0	0.5
	大学・大学院	426	23.9	55.6	19.5	0.7	0.2	0.0
職業	事務職	200	19.5	50.0	29.0	1.0	0.5	0.0
	管理職	74	32.4	47.3	18.9	1.4	0.0	0.0
	専門的・技術職	138	21.7	50.0	27.5	0.0	0.7	0.0
	販売・サービス職	77	14.3	58.4	26.0	1.3	0.0	0.0
	技能・労務職	61	9.8	45.9	39.3	4.9	0.0	0.0
	農林漁業	12	8.3	50.0	33.3	0.0	8.3	0.0
	主婦・主夫	245	10.2	45.7	42.9	0.8	0.4	0.0
	学生	18	33.3	38.9	22.2	5.6	0.0	0.0
	無職	175	16.0	59.4	21.7	1.1	0.0	1.7
	地域	北海道	43	16.3	44.2	37.2	0.0	0.0
東北		71	16.9	47.9	32.4	1.4	0.0	1.4
関東		341	20.8	50.4	27.3	1.5	0.0	0.0
中部		167	13.2	56.3	29.3	1.2	0.0	0.0
近畿		177	15.8	48.6	33.3	1.7	0.6	0.0
中国		58	10.3	55.2	31.0	1.7	0.0	1.7
四国		31	19.4	38.7	38.7	0.0	3.2	0.0
九州	112	16.1	50.9	31.3	0.0	1.8	0.0	
参考:2019年11月(総数)		1,000	13.5	49.6	34.0	1.5	1.4	0.0

信頼できる理由

問 1 2 信頼できる理由は何ですか。(複数回答可)



台湾は「非常に信頼できる」、「信頼できる」と答えた者に、その理由を聞いたところ、「日本に友好的だから」をあげた者の割合が最も高く、61.5%だった。次いで、「自由・民主主義などの価値観を有している」60.7%、「平和な国だから」47.3%、「歴史的なつながり」38.6%、「経済・貿易パートナーだから」33.0%、「地理的な近さ」27.4%、「豊かな伝統文化があるから」26.2%、「台湾政府の安全保障政策」23.1%の順となっている。

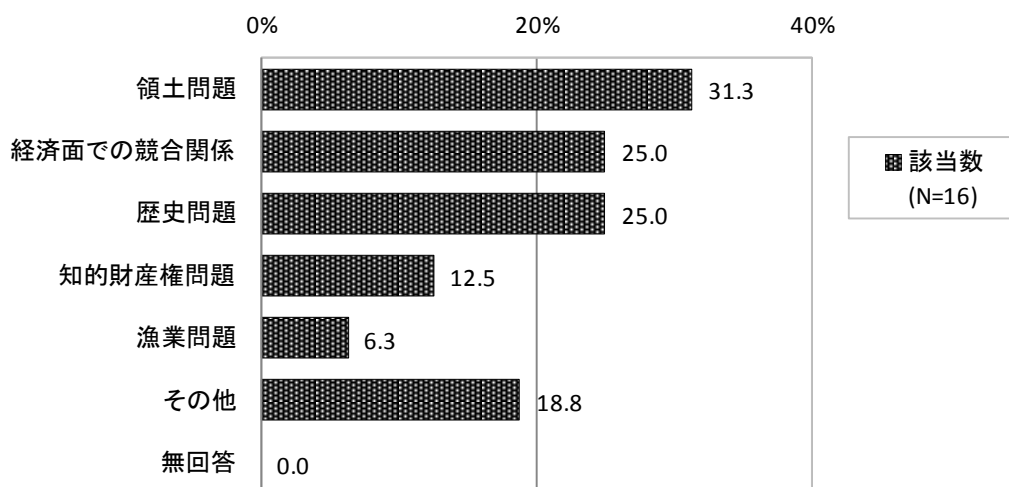
性別にみると、男性では「自由・民主主義などの価値観を有している」、「経済・貿易パートナーだから」をあげた者の割合が高い。

		該当数	自由・民主主義などの価値観を有している	平和な国だから	経済・貿易パートナーだから	台湾政府の安全保障政策	豊かな伝統文化があるから	地理的な近さ	歴史的なつながり	日本に友好的だから	
総数		676	60.7	47.3	33.0	23.1	26.2	27.4	38.6	61.5	
性別	男性	376	67.3	48.4	39.9	25.3	28.2	30.3	41.2	63.3	
	女性	300	52.3	46.0	24.3	20.3	23.7	23.7	35.3	59.3	
年代	20歳代	83	44.6	57.8	38.6	20.5	31.3	31.3	25.3	57.8	
	30歳代	88	50.0	56.8	29.5	20.5	22.7	18.2	20.5	55.7	
	40歳代	114	61.4	43.9	25.4	16.7	15.8	20.2	28.1	53.5	
	50歳代	106	55.7	39.6	31.1	17.9	17.9	25.5	34.0	62.3	
	60歳代	117	72.6	46.2	39.3	27.4	29.1	26.5	48.7	59.8	
	70歳代	113	76.1	37.2	30.1	33.6	28.3	33.6	54.9	73.5	
	80歳代	55	52.7	61.8	41.8	23.6	50.9	43.6	63.6	70.9	
	最終学歴	中学校	26	61.5	50.0	42.3	30.8	46.2	38.5	34.6	53.8
	高等学校	182	53.3	47.8	26.9	19.2	22.5	28.6	39.6	59.9	
	短大・高専・専門学校	126	55.6	46.8	25.4	19.8	27.0	19.0	29.4	58.7	
	大学・大学院	339	66.4	47.2	38.3	26.0	26.0	28.9	41.6	64.0	
職業	事務職	139	54.7	48.9	25.9	18.0	20.9	24.5	29.5	56.8	
	管理職	59	64.4	44.1	40.7	27.1	20.3	22.0	42.4	59.3	
	専門的・技術職	99	61.6	50.5	44.4	19.2	22.2	33.3	36.4	67.7	
	販売・サービス職	56	66.1	53.6	32.1	30.4	25.0	26.8	35.7	55.4	
	技能・労務職	34	58.8	55.9	26.5	20.6	17.6	8.8	20.6	58.8	
	農林漁業	7	42.9	57.1	42.9	0.0	28.6	42.9	57.1	57.1	
	主婦・主夫	137	57.7	44.5	23.4	22.6	27.0	29.2	35.0	61.3	
	学生	13	61.5	53.8	30.8	15.4	23.1	23.1	30.8	46.2	
	無職	132	66.7	41.7	40.2	29.5	39.4	31.1	57.6	68.2	
	地域	北海道	26	73.1	42.3	34.6	38.5	30.8	26.9	30.8	50.0
		東北	46	43.5	47.8	23.9	21.7	30.4	26.1	34.8	69.6
関東		243	60.5	48.1	32.9	23.5	23.0	26.3	42.0	63.4	
中部		116	62.1	47.4	32.8	21.6	23.3	26.7	26.7	52.6	
近畿		114	63.2	47.4	33.3	27.2	28.9	30.7	38.6	57.9	
中国		38	57.9	42.1	44.7	18.4	31.6	34.2	42.1	57.9	
四国		18	77.8	44.4	50.0	33.3	16.7	27.8	55.6	72.2	
九州		75	58.7	49.3	28.0	13.3	32.0	24.0	45.3	73.3	
参考:2019年11月(総数)		631	53.7	49.4	30.9	14.6	23.8	28.7	42.2	66.6	

		該当数	その他	無回答	
総数		676	1.2	0.0	
性別	男性	376	1.6	0.0	
	女性	300	0.7	0.0	
年代	20歳代	83	0.0	0.0	
	30歳代	88	0.0	0.0	
	40歳代	114	3.5	0.0	
	50歳代	106	1.9	0.0	
	60歳代	117	0.0	0.0	
	70歳代	113	0.9	0.0	
	80歳代	55	1.8	0.0	
	最終学歴	中学校	26	0.0	0.0
	高等学校	182	1.1	0.0	
	短大・高専・専門学校	126	1.6	0.0	
	大学・大学院	339	1.2	0.0	
職業	事務職	139	0.7	0.0	
	管理職	59	1.7	0.0	
	専門的・技術職	99	3.0	0.0	
	販売・サービス職	56	1.8	0.0	
	技能・労務職	34	2.9	0.0	
	農林漁業	7	0.0	0.0	
	主婦・主夫	137	0.0	0.0	
	学生	13	0.0	0.0	
	無職	132	0.8	0.0	
	地域	北海道	26	7.7	0.0
		東北	46	2.2	0.0
関東		243	1.6	0.0	
中部		116	0.0	0.0	
近畿		114	0.9	0.0	
中国		38	0.0	0.0	
四国		18	0.0	0.0	
九州		75	0.0	0.0	
参考:2019年11月(総数)		631	0.5	0.0	

信頼できない理由

問 1 3 信頼できない理由は何ですか。(複数回答可)

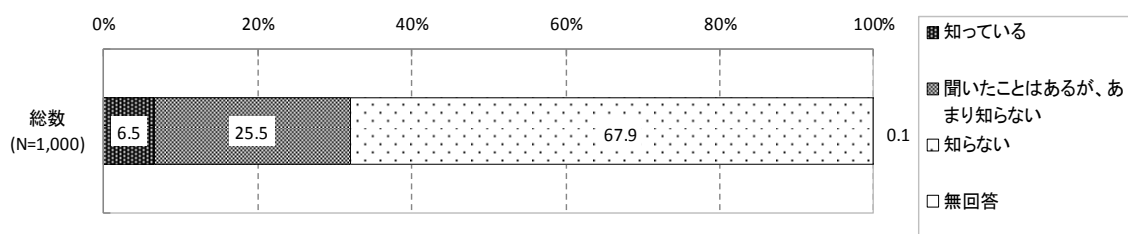


台湾は「信頼できない」、「非常に信頼できない」と答えた者（16人）に、その理由を聞いたところ、「領土問題」をあげた者の割合が最も高く、31.3%（5人）だった。次いで、「経済面での競合関係」、「歴史問題」が同率で25.0%（4人）、「知的財産権問題」12.5%（2人）、「漁業問題問題」6.3%（1人）の順となっている。

		該当数	漁業問題	経済面での競合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問題	その他	無回答
総数		16	6.3	25.0	31.3	25.0	12.5	18.8	0.0
性別	男性	6	16.7	50.0	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0
	女性	10	0.0	10.0	40.0	20.0	10.0	30.0	0.0
年代	20歳代	4	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
	30歳代	4	25.0	25.0	75.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	40歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
	60歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70歳代	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	80歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	中学校	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
最終学歴	高等学校	8	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	0.0
	短大・高専・専門学校	4	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	大学・大学院	4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
職業	事務職	3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	管理職	1	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	技能・労務職	3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	農林漁業	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	学生	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	地域	北海道	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東北		1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
関東		5	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	0.0
中部		2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0
近畿		4	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0
中国		1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
四国		1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
九州		2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
参考：2019年11月(総数)		29	17.2	24.1	13.8	27.6	24.1	20.7	3.4

台北駐日経済文化代表処を知っているか

問14 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



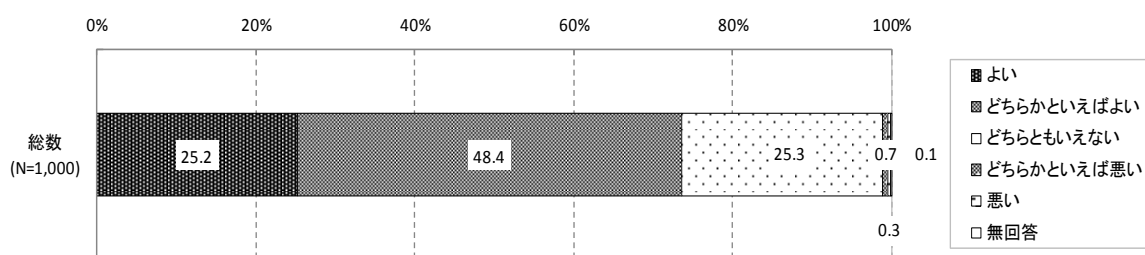
台北駐日経済文化代表処を知っているか聞いたところ、「知っている」と答えたのは6.5%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは25.5%、「知らない」と答えたのは67.9%だった。

性別にみると、「知っている」と答えたのは男性で8.6%、女性で4.5%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えたのは男性で32.2%、女性で19.1%、「知らない」と答えたのは男性で59.0%、女性で76.4%となっており、男性のほうが認知が高い。

		総数	知っている	聞いたことはあるが、あまり知らない	知らない	無回答
総数		1,000	6.5	25.5	67.9	0.1
性別	男性	488	8.6	32.2	59.0	0.2
	女性	512	4.5	19.1	76.4	0.0
年代	20歳代	120	8.3	19.2	72.5	0.0
	30歳代	142	6.3	21.8	71.8	0.0
	40歳代	183	4.9	20.8	74.3	0.0
	50歳代	156	5.8	25.0	69.2	0.0
	60歳代	163	8.0	32.5	59.5	0.0
	70歳代	148	8.1	39.9	52.0	0.0
	80歳代	88	3.4	13.6	81.8	1.1
最終学歴	中学校	40	10.0	25.0	65.0	0.0
	高等学校	318	3.1	21.1	75.8	0.0
	短大・高専・専門学校	210	3.3	26.2	70.5	0.0
	大学・大学院	426	10.3	28.6	60.8	0.2
職業	事務職	200	8.5	20.5	71.0	0.0
	管理職	74	13.5	32.4	54.1	0.0
	専門的・技術職	138	5.8	32.6	61.6	0.0
	販売・サービス職	77	7.8	29.9	62.3	0.0
	技能・労務職	61	4.9	24.6	70.5	0.0
	農林漁業	12	0.0	25.0	75.0	0.0
	主婦・主夫	245	3.3	19.6	77.1	0.0
	学生	18	11.1	22.2	66.7	0.0
	無職	175	6.3	29.7	63.4	0.6
地域	北海道	43	2.3	23.3	74.4	0.0
	東北	71	2.8	25.4	71.8	0.0
	関東	341	8.2	27.3	64.5	0.0
	中部	167	4.8	25.1	70.1	0.0
	近畿	177	8.5	26.0	65.0	0.6
	中国	58	5.2	15.5	79.3	0.0
	四国	31	0.0	48.4	51.6	0.0
九州	112	7.1	19.6	73.2	0.0	
参考:2019年11月(総数)		1,000	5.5	23.2	71.3	0.0

日本と台湾の関係をどう思うか

問15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



現在の日本と台湾の関係をどう思うか聞いたところ、「よい」と答えたのは25.2%、「どちらかといえばよい」と答えたのは48.4%、「どちらともいえない」と答えたのは25.3%、「どちらかといえば悪い」と答えたのは0.7%、「悪い」と答えたのは0.3%だった。

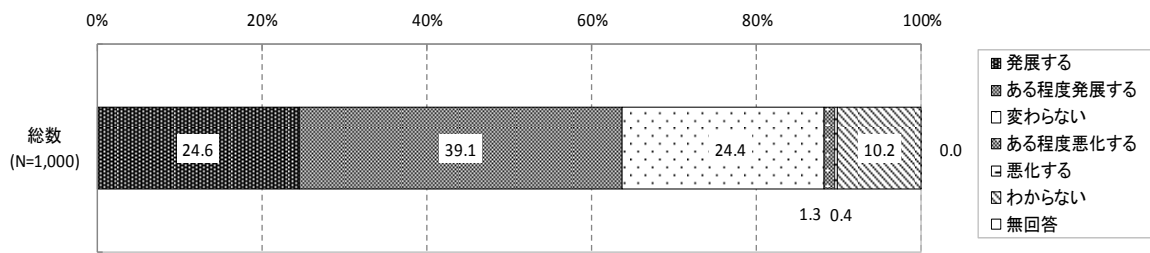
性別にみると、「よい(計)」「よい」+「どちらかといえばよい」と答えた者は男性で79.5%、女性で68.0%だった。

年代別にみると、すべての年代で「よい(計)」「よい」+「どちらかといえばよい」と答えた者が6割を超えており、「悪い(計)」「悪い」+「どちらかといえば悪い」と答えた者の割合は4%未満と少数になっている。

		総数	よい	どちらかとい えばよい	どちらとも いえない	どちらかとい えば悪い	悪い	無回答
総数		1,000	25.2	48.4	25.3	0.7	0.3	0.1
性別	男性	488	33.0	46.5	19.9	0.4	0.2	0.0
	女性	512	17.8	50.2	30.5	1.0	0.4	0.2
年代	20歳代	120	27.5	46.7	22.5	2.5	0.8	0.0
	30歳代	142	22.5	47.9	28.2	1.4	0.0	0.0
	40歳代	183	24.0	44.8	31.1	0.0	0.0	0.0
	50歳代	156	23.7	49.4	26.9	0.0	0.0	0.0
	60歳代	163	24.5	54.0	20.9	0.6	0.0	0.0
	70歳代	148	28.4	55.4	14.9	0.7	0.7	0.0
	80歳代	88	27.3	35.2	35.2	0.0	1.1	1.1
最終 学歴	中学校	40	35.0	20.0	45.0	0.0	0.0	0.0
	高等学校	318	20.4	44.3	33.6	0.6	0.6	0.3
	短大・高専・専門学校	210	19.5	51.0	28.1	1.4	0.0	0.0
	大学・大学院	426	30.3	53.1	16.0	0.5	0.2	0.0
職業	事務職	200	25.5	50.5	23.0	1.0	0.0	0.0
	管理職	74	27.0	51.4	21.6	0.0	0.0	0.0
	専門的・技術職	138	28.3	52.9	18.8	0.0	0.0	0.0
	販売・サービス職	77	24.7	46.8	27.3	1.3	0.0	0.0
	技能・労務職	61	23.0	37.7	36.1	1.6	1.6	0.0
	農林漁業	12	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫	245	18.4	47.8	31.8	0.8	0.8	0.4
	学生	18	38.9	44.4	11.1	5.6	0.0	0.0
	無職	175	30.9	48.6	20.6	0.0	0.0	0.0
	地域	北海道	43	30.2	39.5	30.2	0.0	0.0
東北	71	21.1	46.5	31.0	0.0	1.4	0.0	
関東	341	29.6	49.6	20.5	0.0	0.0	0.3	
中部	167	24.0	48.5	26.9	0.6	0.0	0.0	
近畿	177	19.2	49.2	28.8	1.7	1.1	0.0	
中国	58	19.0	51.7	29.3	0.0	0.0	0.0	
四国	31	22.6	48.4	29.0	0.0	0.0	0.0	
九州	112	27.7	46.4	23.2	2.7	0.0	0.0	
参考:2019年11月(総数)		1,000	26.0	48.9	23.2	1.3	0.5	0.1

日本と台湾の関係は将来どうなるか

問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると思いますか。(答えは1つ)



日本と台湾の関係は将来どうなるか聞いたところ、「発展する」と答えたのは24.6%、「ある程度発展する」と答えたのは39.1%、「変わらない」と答えたのは24.4%、「ある程度悪化する」と答えたのは1.3%、「悪化する」と答えたのは0.4%だった。一方、「わからない」と答えたのは10.2%だった。

性別にみると、「発展する(計)」「発展する」+「ある程度発展する」と答えた者の割合は男性で73.0%、女性で54.9%と、男性のほうが高い。「悪化する(計)」「ある程度悪化する」+「悪化する」と答えた者は男女とも2%以下とわずかである。

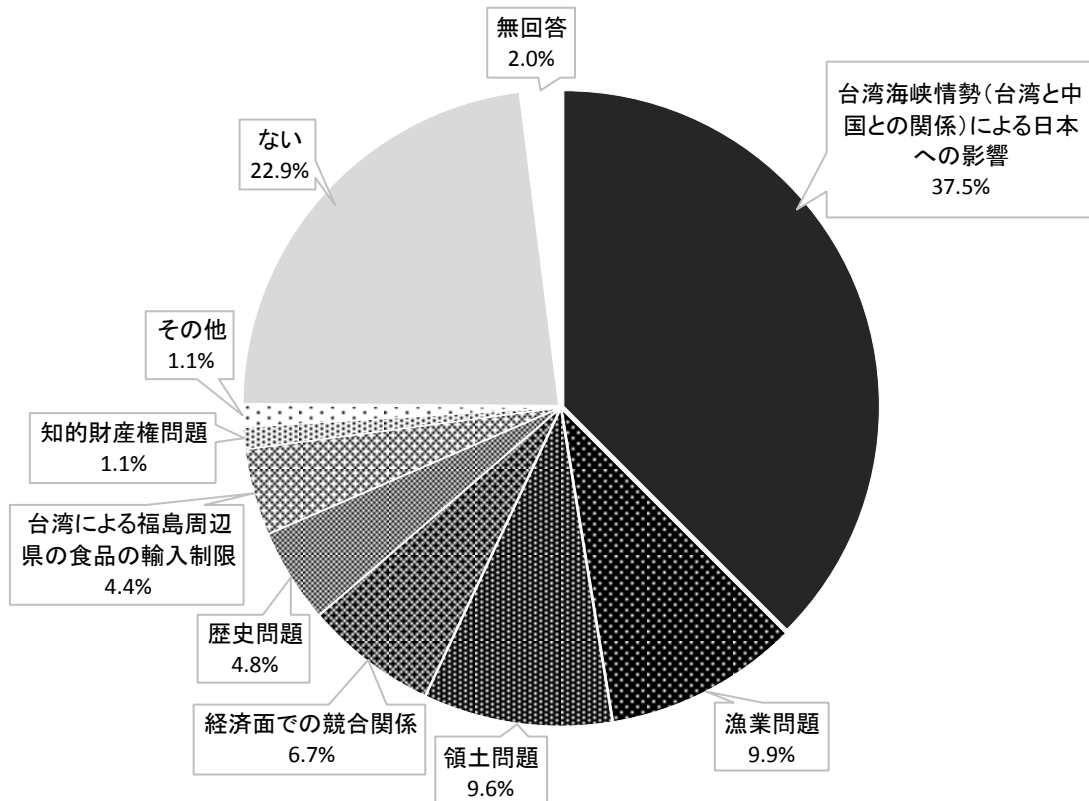
年代別にみると、80歳代を除くすべての年代で「発展する(計)」「発展する」+「ある程度発展する」と答えた者は6割を超えている。

		総数	発展する	ある程度 発展する	変わらない	ある程度 悪化する	悪化する	わからない	無回答
総数		1,000	24.6	39.1	24.4	1.3	0.4	10.2	0.0
性別	男性	488	33.2	39.8	18.4	1.0	0.4	7.2	0.0
	女性	512	16.4	38.5	30.1	1.6	0.4	13.1	0.0
年代	20歳代	120	31.7	38.3	24.2	1.7	0.8	3.3	0.0
	30歳代	142	28.2	39.4	20.4	2.8	0.0	9.2	0.0
	40歳代	183	24.0	41.5	22.4	1.6	0.0	10.4	0.0
	50歳代	156	23.1	41.0	26.3	0.0	0.0	9.6	0.0
	60歳代	163	25.2	42.3	25.2	1.8	0.6	4.9	0.0
	70歳代	148	23.6	41.2	27.0	0.7	0.7	6.8	0.0
	80歳代	88	13.6	21.6	26.1	0.0	1.1	37.5	0.0
	最終 学歴	中学校	40	25.0	20.0	27.5	0.0	0.0	27.5
	高等学校	318	18.6	36.8	29.2	0.9	0.6	13.8	0.0
	短大・高専・専門学校	210	20.5	40.0	26.2	1.4	0.0	11.9	0.0
	大学・大学院	426	31.5	42.5	19.5	1.6	0.5	4.5	0.0
職業	事務職	200	27.5	33.0	30.5	1.0	0.0	8.0	0.0
	管理職	74	31.1	41.9	21.6	1.4	0.0	4.1	0.0
	専門的・技術職	138	28.3	51.4	16.7	0.7	0.0	2.9	0.0
	販売・サービス職	77	27.3	41.6	18.2	3.9	0.0	9.1	0.0
	技能・労務職	61	24.6	36.1	27.9	3.3	3.3	4.9	0.0
	農林漁業	12	25.0	41.7	25.0	0.0	0.0	8.3	0.0
	主婦・主夫	245	18.0	38.8	26.9	1.2	0.4	14.7	0.0
	学生	18	38.9	44.4	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0
	無職	175	22.3	34.9	24.0	0.0	0.6	18.3	0.0
	地域	北海道	43	27.9	27.9	30.2	0.0	0.0	14.0
東北		71	23.9	31.0	29.6	4.2	1.4	9.9	0.0
関東		341	26.4	37.8	27.0	0.9	0.3	7.6	0.0
中部		167	26.3	41.3	20.4	1.2	0.6	10.2	0.0
近畿		177	20.3	40.7	23.7	0.6	0.6	14.1	0.0
中国		58	24.1	41.4	22.4	1.7	0.0	10.3	0.0
四国		31	12.9	54.8	16.1	3.2	0.0	12.9	0.0
九州	112	25.9	41.1	21.4	1.8	0.0	9.8	0.0	
参考: 2019年11月(総数)		1,000	20.7	37.1	30.8	1.9	0.5	9.0	0.0

日本と台湾の間で最も懸念される問題

問17 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。
(答えは1つ)

総数(N=1,000)



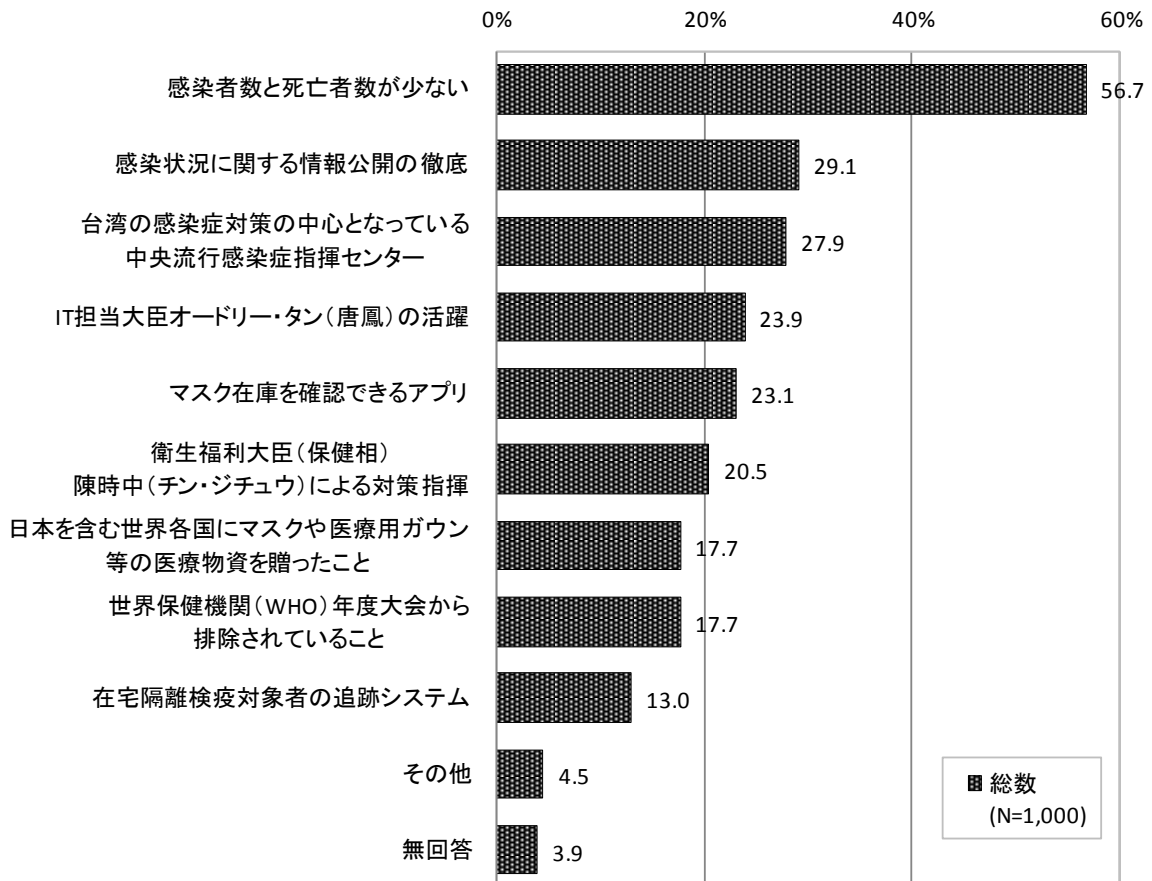
日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うものを聞いたところ、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」と答えた者の割合がもっとも高く、37.5%だった。次いで「ない」22.9%、「漁業問題」9.9%、「領土問題」9.6%、「経済面での競合関係」6.7%、「歴史問題」4.8%、「台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題」4.4%、「知的財産権問題」1.1%の順となっている。

		総数	漁業問題	経済面での競 合関係	領土問題	歴史問題	知的財産権問 題	台湾海峡情勢 (台湾と中国と の関係)による 日本への影響	台湾による福島 周辺県の食品 の輸入制限
総数		1,000	9.9	6.7	9.6	4.8	1.1	37.5	4.4
性別	男性	488	12.5	7.0	11.5	4.1	1.0	40.0	3.5
	女性	512	7.4	6.4	7.8	5.5	1.2	35.2	5.3
年代	20歳代	120	10.8	7.5	10.8	5.8	0.8	37.5	2.5
	30歳代	142	12.7	11.3	10.6	9.2	0.0	26.8	3.5
	40歳代	183	10.4	6.6	9.8	6.6	1.6	33.3	2.7
	50歳代	156	7.7	5.8	13.5	5.1	1.3	38.5	3.2
	60歳代	163	10.4	5.5	7.4	3.1	1.2	46.0	4.9
	70歳代	148	8.1	4.1	8.1	0.7	0.7	54.7	5.4
	80歳代	88	9.1	6.8	5.7	2.3	2.3	17.0	11.4
最終 学歴	中学校	40	7.5	2.5	15.0	2.5	0.0	17.5	2.5
	高等学校	318	10.4	5.3	8.2	5.3	0.6	35.5	5.0
	短大・高専・専門学校	210	10.0	7.6	9.0	4.3	2.9	31.0	4.8
	大学・大学院	426	9.9	7.7	10.1	4.9	0.7	44.1	4.0
職業	事務職	200	10.5	5.0	9.0	7.0	0.5	39.5	3.0
	管理職	74	12.2	5.4	10.8	8.1	1.4	36.5	2.7
	専門的・技術職	138	13.0	9.4	11.6	3.6	0.7	36.2	2.2
	販売・サービス職	77	6.5	6.5	10.4	3.9	2.6	32.5	6.5
	技能・労務職	61	14.8	14.8	9.8	0.0	1.6	37.7	1.6
	農林漁業	12	0.0	8.3	8.3	16.7	0.0	41.7	0.0
	主婦・主夫	245	7.8	6.1	9.0	5.7	1.2	35.5	5.3
	学生	18	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	55.6	11.1
	無職	175	10.3	5.1	9.1	2.3	1.1	39.4	6.9
	地域	北海道	43	20.9	0.0	7.0	4.7	0.0	39.5
東北		71	7.0	5.6	11.3	0.0	1.4	39.4	5.6
関東		341	9.1	8.5	6.7	4.7	2.1	38.1	6.5
中部		167	11.4	7.2	12.0	4.2	0.6	37.1	0.6
近畿		177	9.6	9.0	13.6	9.6	0.6	28.8	5.1
中国		58	12.1	3.4	8.6	3.4	0.0	41.4	5.2
四国		31	0.0	0.0	9.7	3.2	0.0	58.1	3.2
九州	112	9.8	3.6	8.9	2.7	0.9	40.2	3.6	
参考:2019年11月(総数)		1,000	9.3	7.2	5.7	5.2	1.4	36.2	6.2

		総数	その他	ない	無回答
総数		1,000	1.1	22.9	2.0
性別	男性	488	0.6	19.1	0.8
	女性	512	1.6	26.6	3.1
年代	20歳代	120	0.0	24.2	0.0
	30歳代	142	0.7	25.4	0.0
	40歳代	183	1.6	27.3	0.0
	50歳代	156	1.3	23.7	0.0
	60歳代	163	0.6	20.9	0.0
	70歳代	148	2.0	16.2	0.0
	80歳代	88	1.1	21.6	22.7
最終 学歴	中学校	40	0.0	32.5	20.0
	高等学校	318	1.9	25.5	2.2
	短大・高専・専門学校	210	1.0	28.6	1.0
	大学・大学院	426	0.7	17.4	0.5
職業	事務職	200	0.5	25.0	0.0
	管理職	74	0.0	23.0	0.0
	専門的・技術職	138	0.7	22.5	0.0
	販売・サービス職	77	2.6	27.3	1.3
	技能・労務職	61	0.0	19.7	0.0
	農林漁業	12	0.0	25.0	0.0
	主婦・主夫	245	1.6	23.3	4.5
	学生	18	0.0	22.2	0.0
	無職	175	1.7	19.4	4.6
	地域	北海道	43	0.0	25.6
東北		71	0.0	29.6	0.0
関東		341	1.5	21.7	1.2
中部		167	1.8	23.4	1.8
近畿		177	1.1	19.2	3.4
中国		58	0.0	25.9	0.0
四国		31	3.2	22.6	0.0
九州	112	0.0	25.0	5.4	
参考:2019年11月(総数)		1,000	1.6	26.6	0.6

台湾の新型コロナウイルス感染症対策で印象に残ったこと

問18 今年、新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延していますが、台湾では10月末までの国内の感染者数が約555人とどまり、感染拡大を効果的に封じ込めていると日本のメディアも多く報道しています。台湾の新型コロナウイルス感染症対策をめぐり、あなたの印象に残ったことはどのようなことですか。
(複数回答可)



今年の台湾の新型コロナウイルス感染症対策をめぐり、印象に残ったことを聞いたところ、「感染者数と死亡者数が少ない」と答えた者の割合が最も高く、56.7%だった。次いで、「感染状況に関する情報公開の徹底」29.1%、「台湾の感染症対策の中心となっている中央流行感染症指揮センター」27.9%、「IT担当大臣オードリー・タン(唐鳳)の活躍」23.9%、「マスク在庫を確認できるアプリ」23.1%、「衛生福利大臣(保健相)陳時中(チン・ジチュウ)による対策指揮」20.5%、「日本を含む世界各国にマスクや医療用ガウン等の医療物資を贈ったこと」、「世界保健機関(WHO)年度大会から排除されていること」が同率で17.7%、「在宅隔離検疫対象者の追跡システム」13.0%の順となっている。

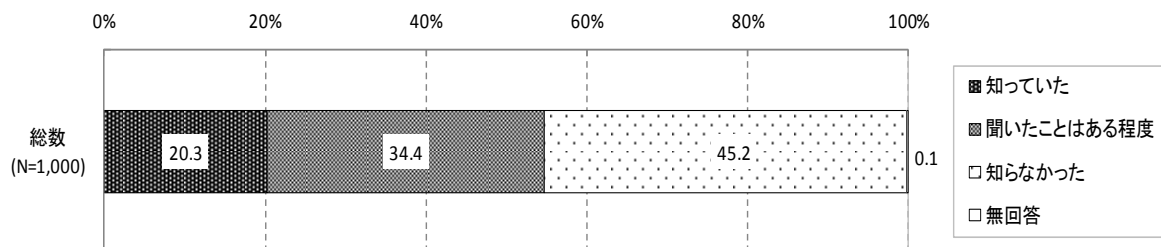
なお、「その他」と答えた者の割合は4.5%だったが、その内容は「特にない」、「知らない」、「分からない」というものが多かった。

		総数	台湾の感染症 対策の中心と なっている中 央流行感染症 指揮センター	感染者数と 死亡者数が 少ない	感染状況に関 する情報公開 の徹底	衛生福利大臣 (保健相)陳時 中(チン・ジ チュウ)による 対策指揮	IT担当大臣 オードリー・タ ン(唐鳳)の 活躍	マスク在庫を 確認できる アプリ	在宅隔離 検査対象者 の追跡シス テム	日本を含む世 界各国にマス クや医療用ガ ウン等の医療 物資を贈った こと	世界保健機 関(WHO)年 度大会から排 除されている こと
総数		1,000	27.9	56.7	29.1	20.5	23.9	23.1	13.0	17.7	17.7
性別	男性	488	33.4	56.6	32.6	22.3	27.3	22.1	13.5	16.2	21.5
	女性	512	22.7	56.8	25.8	18.8	20.7	24.0	12.5	19.1	14.1
年代	20歳代	120	28.3	56.7	20.0	11.7	21.7	22.5	14.2	17.5	15.0
	30歳代	142	26.1	50.0	26.8	19.7	24.6	20.4	14.8	15.5	13.4
	40歳代	183	23.0	53.6	28.4	16.9	20.8	27.3	9.8	13.1	14.2
	50歳代	156	28.2	55.8	20.5	18.6	22.4	21.2	10.9	14.1	13.5
	60歳代	163	38.7	70.6	36.8	27.0	27.0	27.6	18.4	20.2	27.6
	70歳代	148	35.8	62.8	46.6	33.8	36.5	25.0	17.6	25.0	24.3
	80歳代	88	6.8	39.8	18.2	10.2	8.0	11.4	1.1	20.5	13.6
最終 学歴	中学校	40	15.0	37.5	17.5	10.0	2.5	7.5	2.5	15.0	5.0
	高等学校	318	22.3	54.4	24.8	15.4	16.4	19.8	10.1	16.4	15.4
	短大・高専・専門学校	210	21.0	59.5	30.0	17.6	19.0	21.0	12.4	19.5	12.4
	大学・大学院	426	37.1	59.2	33.1	27.0	34.3	28.4	16.7	17.8	23.2
職業	事務職	200	24.0	56.5	27.5	14.5	22.0	22.5	14.0	12.0	13.5
	管理職	74	39.2	56.8	23.0	17.6	29.7	27.0	13.5	13.5	23.0
	専門的・技術職	138	31.2	59.4	31.9	21.0	31.9	21.0	13.8	20.3	20.3
	販売・サービス職	77	32.5	63.6	32.5	23.4	22.1	28.6	13.0	16.9	18.2
	技能・労務職	61	21.3	57.4	23.0	14.8	9.8	16.4	6.6	11.5	21.3
	農林漁業	12	16.7	25.0	16.7	25.0	25.0	25.0	0.0	8.3	25.0
	主婦・主夫	245	24.9	55.9	30.6	21.2	20.0	23.7	13.5	18.4	15.1
	学生	18	38.9	38.9	11.1	16.7	27.8	33.3	5.6	38.9	16.7
	無職	175	29.1	56.6	32.6	28.0	28.0	21.7	14.3	24.0	20.0
	北海道	43	25.6	69.8	34.9	25.6	27.9	30.2	9.3	18.6	14.0
地域	東北	71	23.9	43.7	21.1	18.3	18.3	19.7	7.0	18.3	14.1
	関東	341	32.6	58.9	32.6	25.2	31.4	26.4	15.0	19.4	24.9
	中部	167	27.5	55.7	27.5	20.4	21.0	20.4	14.4	16.8	11.4
	近畿	177	22.6	56.5	31.1	16.4	20.9	21.5	15.3	17.5	13.0
	中国	58	22.4	69.0	25.9	12.1	13.8	25.9	10.3	13.8	12.1
	四国	31	45.2	51.6	32.3	6.5	12.9	19.4	3.2	12.9	19.4
	九州	112	24.1	50.0	21.4	20.5	20.5	18.8	10.7	17.0	18.8

		総数	その他	無回答
総数		1,000	4.5	3.9
性別	男性	488	3.7	3.3
	女性	512	5.3	4.5
年代	20歳代	120	4.2	0.0
	30歳代	142	4.2	0.0
	40歳代	183	7.7	0.0
	50歳代	156	3.8	0.0
	60歳代	163	1.2	0.0
	70歳代	148	6.8	0.0
	80歳代	88	2.3	44.3
最終 学歴	中学校	40	2.5	27.5
	高等学校	318	6.6	3.8
	短大・高専・専門学校	210	3.8	3.3
	大学・大学院	426	3.5	1.2
職業	事務職	200	4.0	0.0
	管理職	74	0.0	0.0
	専門的・技術職	138	2.9	0.0
	販売・サービス職	77	7.8	1.3
	技能・労務職	61	6.6	0.0
	農林漁業	12	0.0	25.0
	主婦・主夫	245	6.1	5.7
	学生	18	5.6	0.0
	無職	175	4.0	12.0
	地域	北海道	43	4.7
東北		71	5.6	5.6
関東		341	3.2	2.9
中部		167	4.2	3.0
近畿		177	7.3	4.5
中国		58	1.7	0.0
四国		31	6.5	9.7
九州	112	4.5	7.1	

自然災害時等の日本と台湾双方の政府トップによる SNSを通じたお見舞い発信を知っているか

問19 今年の新型コロナウイルス感染症に関することを含め、近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っていますが、政府のトップも Facebook やツイッター等のSNSを通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。(答えは1つ)

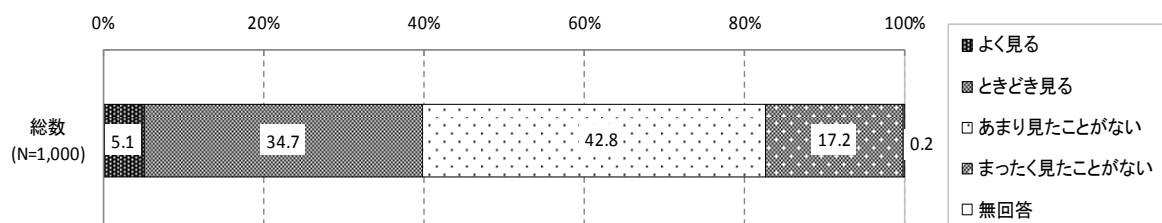


今年の新型コロナウイルス感染症に関することを含め、近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に相互支援を行うとともに、双方の政府のトップもSNSを通じてお見舞いや励ましの言葉を寄せていることを知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えたのは20.3%、「聞いたことはある程度」と答えたのは34.4%、「知らなかった」と答えたのは45.2%だった。

		総数	知っていた	聞いたことはある程度	知らなかった	無回答
総数		1,000	20.3	34.4	45.2	0.1
性別	男性	488	23.4	38.1	38.5	0.0
	女性	512	17.4	30.9	51.6	0.2
年代	20歳代	120	20.8	36.7	42.5	0.0
	30歳代	142	17.6	28.2	54.2	0.0
	40歳代	183	18.6	29.0	52.5	0.0
	50歳代	156	17.3	36.5	46.2	0.0
	60歳代	163	21.5	41.1	37.4	0.0
	70歳代	148	25.7	42.6	31.8	0.0
	80歳代	88	21.6	22.7	54.5	1.1
	最終学歴	中学校	40	15.0	40.0	42.5
高等学校		318	14.2	35.8	50.0	0.0
短大・高専・専門学校		210	16.2	31.0	52.9	0.0
大学・大学院		426	27.7	34.7	37.6	0.0
職業	事務職	200	19.5	32.0	48.5	0.0
	管理職	74	31.1	35.1	33.8	0.0
	専門的・技術職	138	21.7	39.1	39.1	0.0
	販売・サービス職	77	20.8	36.4	42.9	0.0
	技能・労務職	61	14.8	37.7	47.5	0.0
	農林漁業	12	25.0	33.3	41.7	0.0
	主婦・主夫	245	17.1	29.4	53.5	0.0
	学生	18	27.8	44.4	27.8	0.0
	無職	175	20.6	37.1	41.7	0.6
地域	北海道	43	20.9	20.9	55.8	2.3
	東北	71	15.5	31.0	53.5	0.0
	関東	341	24.6	31.4	44.0	0.0
	中部	167	17.4	38.3	44.3	0.0
	近畿	177	14.7	37.3	48.0	0.0
	中国	58	22.4	36.2	41.4	0.0
	四国	31	29.0	48.4	22.6	0.0
	九州	112	19.6	35.7	44.6	0.0
参考:2019年11月(総数)		1,000	23.5	32.1	44.4	0.0

今年、台湾の観光や文化を紹介する番組や報道を目にしたか

問 20 今年、台湾の観光や文化を紹介するテレビ・ラジオ番組または新聞・雑誌の報道を見たことがありますか。(答えは1つ)

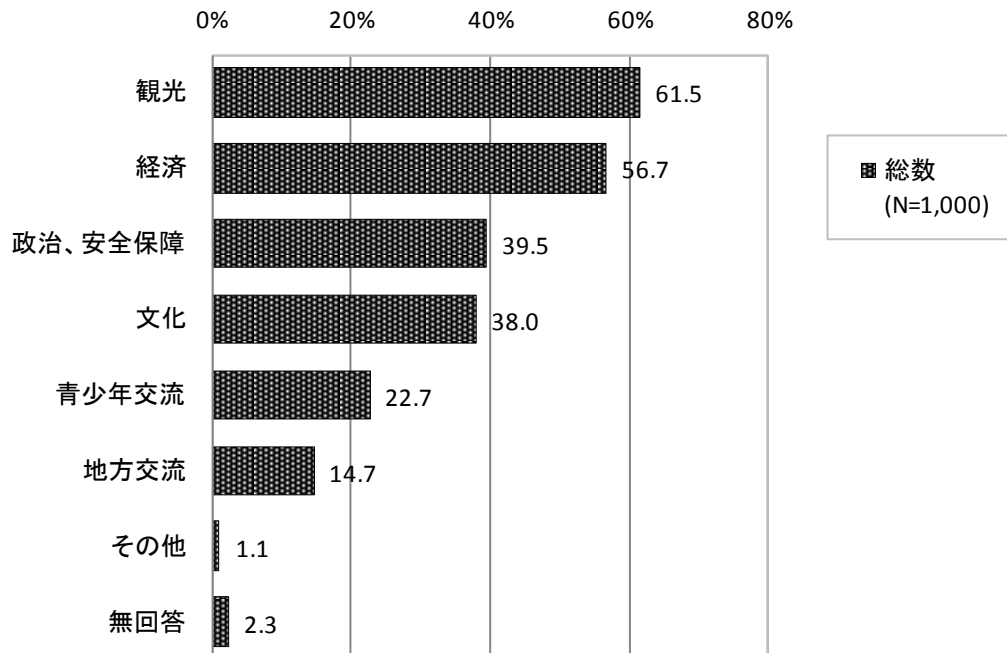


今年、台湾の観光や文化を紹介するテレビ・ラジオ番組または新聞・雑誌の報道を見たことがあるか聞いたところ、「よく見る」と答えたのは5.1%、「ときどき見る」と答えたのは34.7%、「あまり見たことがない」と答えたのは42.8%、「まったく見たことがない」と答えたのは17.2%だった。「見たことがある(計)」「よく見る」+「ときどき見る」と答えた者の割合は39.8%となっている。

		総数	よく見る	ときどき見る	あまり見たことがない	まったく見たことがない	無回答
総数		1,000	5.1	34.7	42.8	17.2	0.2
性別	男性	488	6.1	37.9	41.2	14.5	0.2
	女性	512	4.1	31.6	44.3	19.7	0.2
年代	20歳代	120	5.0	32.5	32.5	25.0	5.0
	30歳代	142	1.6	29.9	46.2	22.3	0.0
	40歳代	183	3.3	31.9	44.8	20.0	0.0
	50歳代	156	8.7	39.9	40.4	11.0	0.0
	60歳代	163	6.5	38.0	37.5	18.0	0.0
	70歳代	148	13.5	31.1	44.6	10.8	0.0
	80歳代	88	3.6	38.4	41.3	16.7	0.0
最終学歴	中学校	40	5.0	32.5	32.5	25.0	5.0
	高等学校	318	1.6	29.9	46.2	22.3	0.0
	短大・高専・専門学校	210	3.3	31.9	44.8	20.0	0.0
	大学・大学院	426	8.7	39.9	40.4	11.0	0.0
職業	事務職	200	6.5	38.0	37.5	18.0	0.0
	管理職	74	13.5	31.1	44.6	10.8	0.0
	専門的・技術職	138	3.6	38.4	41.3	16.7	0.0
	販売・サービス職	77	3.9	37.7	41.6	16.9	0.0
	技能・労務職	61	3.3	27.9	47.5	21.3	0.0
	農林漁業	12	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	主婦・主夫	245	2.9	31.0	47.8	18.4	0.0
	学生	18	5.6	33.3	61.1	0.0	0.0
	無職	175	5.7	36.0	38.9	18.3	1.1
地域	北海道	43	7.0	23.3	41.9	23.3	4.7
	東北	71	4.2	36.6	40.8	18.3	0.0
	関東	341	5.3	33.7	44.0	17.0	0.0
	中部	167	2.4	38.9	43.7	15.0	0.0
	近畿	177	9.0	29.9	41.8	19.2	0.0
	中国	58	5.2	36.2	37.9	20.7	0.0
	四国	31	6.5	45.2	29.0	19.4	0.0
九州	112	1.8	38.4	47.3	12.5	0.0	

力を入れて行うべき交流の分野

問 2 1 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思えますか。
(複数回答可)



日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思うか聞いたところ、「観光」をあげた者の割合が最も高く、61.5%だった。次いで、「経済」56.7%、「政治、安全保障」39.5%、「文化」38.0%、「青少年交流」22.7%、「地方交流」14.7%の順となっている。

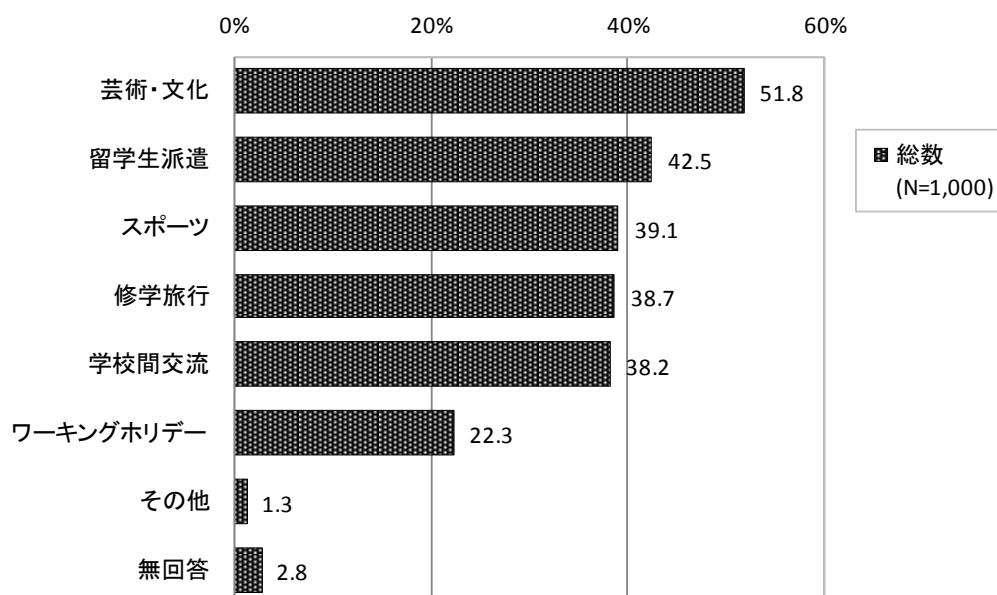
性別にみると、男性では「経済」が1位、女性では「観光」が1位となっている。

		総数	観光	経済	文化	青少年交流	政治、安全保障	地方交流
総数		1,000	61.5	56.7	38.0	22.7	39.5	14.7
性別	男性	488	63.7	66.4	41.8	23.0	40.0	14.5
	女性	512	59.4	47.5	34.4	22.5	39.1	14.8
年代	20歳代	120	71.7	57.5	36.7	23.3	38.3	15.8
	30歳代	142	54.9	54.2	33.8	14.8	32.4	12.7
	40歳代	183	66.7	55.7	40.4	20.8	32.2	14.8
	50歳代	156	59.6	55.8	42.3	19.9	41.0	11.5
	60歳代	163	65.6	65.0	40.5	25.8	55.8	14.1
	70歳代	148	62.8	67.6	41.2	30.4	47.3	16.9
	80歳代	88	40.9	29.5	23.9	25.0	21.6	19.3
最終学歴	中学校	40	45.0	35.0	27.5	27.5	37.5	20.0
	高等学校	318	57.2	50.3	32.7	18.9	36.2	13.2
	短大・高専・専門学校	210	63.3	48.1	39.0	20.0	39.0	15.2
	大学・大学院	426	66.2	68.3	42.7	26.5	43.0	15.3
職業	事務職	200	62.0	59.5	39.0	22.5	35.5	13.0
	管理職	74	59.5	66.2	44.6	23.0	47.3	16.2
	専門的・技術職	138	71.0	63.8	41.3	24.6	38.4	18.1
	販売・サービス職	77	61.0	46.8	42.9	20.8	39.0	22.1
	技能・労務職	61	57.4	68.9	34.4	14.8	32.8	9.8
	農林漁業	12	25.0	25.0	33.3	41.7	33.3	8.3
	主婦・主夫	245	61.6	45.7	35.1	20.0	40.0	10.6
	学生	18	66.7	61.1	33.3	22.2	50.0	11.1
	無職	175	57.7	61.1	35.4	27.4	42.9	18.3
地域	北海道	43	72.1	58.1	37.2	27.9	44.2	16.3
	東北	71	64.8	50.7	45.1	22.5	39.4	23.9
	関東	341	60.1	59.8	38.1	21.7	41.1	14.7
	中部	167	59.9	53.3	39.5	21.6	33.5	11.4
	近畿	177	63.3	58.2	35.0	22.6	39.0	13.6
	中国	58	70.7	63.8	34.5	31.0	44.8	25.9
	四国	31	61.3	51.6	29.0	25.8	41.9	0.0
九州	112	54.5	50.9	40.2	20.5	39.3	13.4	
参考:2019年11月(総数)		1,000	66.8	50.7	35.7	28.6	33.6	23.4

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.1	2.3
性別	男性	488	1.2	1.6
	女性	512	1.0	2.9
年代	20歳代	120	0.0	0.0
	30歳代	142	0.7	0.0
	40歳代	183	2.2	0.0
	50歳代	156	1.3	0.0
	60歳代	163	0.0	0.0
	70歳代	148	1.4	0.0
	80歳代	88	2.3	26.1
最終学歴	中学校	40	0.0	20.0
	高等学校	318	1.6	1.9
	短大・高専・専門学校	210	1.4	1.9
	大学・大学院	426	0.7	0.2
職業	事務職	200	0.5	0.0
	管理職	74	0.0	0.0
	専門的・技術職	138	0.7	0.0
	販売・サービス職	77	1.3	2.6
	技能・労務職	61	1.6	0.0
	農林漁業	12	0.0	16.7
	主婦・主夫	245	1.2	2.4
	学生	18	0.0	0.0
	無職	175	2.3	7.4
地域	北海道	43	0.0	2.3
	東北	71	1.4	1.4
	関東	341	1.5	1.8
	中部	167	1.8	1.8
	近畿	177	0.6	2.3
	中国	58	0.0	0.0
	四国	31	3.2	3.2
九州	112	0.0	6.3	
参考:2019年11月(総数)		1,000	1.4	0.8

青少年交流で促進すべき分野

問22 日本と台湾両政府は、相互理解を深めることを目的に、青少年の交流事業を継続して行ってきました。日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思いますか。(複数回答可)



日本と台湾両政府が、相互理解を深めることを目的に行っている青少年の交流事業について、どの分野を特に促進すべきだと思うか聞いたところ、「芸術・文化」をあげた者の割合が最も高く、51.8%だった。次いで、「留学生派遣」42.5%、「スポーツ」39.1%、「修学旅行」38.7%、「学校間交流」38.2%、「ワーキングホリデー」22.3%の順となっている。

		総数	修学旅行	スポーツ	芸術・文化	学校間交流	留学生派遣	ワーキング ホリデー
総数		1,000	38.7	39.1	51.8	38.2	42.5	22.3
性別	男性	488	41.8	44.5	51.8	38.7	41.6	20.7
	女性	512	35.7	34.0	51.8	37.7	43.4	23.8
年代	20歳代	120	50.8	38.3	45.8	41.7	45.8	22.5
	30歳代	142	36.6	39.4	47.2	38.7	33.1	23.2
	40歳代	183	39.3	35.5	48.1	40.4	39.3	17.5
	50歳代	156	34.0	39.7	51.9	34.0	35.9	22.4
	60歳代	163	34.4	42.9	66.3	36.2	47.9	26.4
	70歳代	148	42.6	43.2	58.1	39.2	50.0	25.0
	80歳代	88	34.1	31.8	37.5	37.5	48.9	18.2
	最終 学歴	中学校	40	30.0	35.0	47.5	42.5	40.0
	高等学校	318	34.3	36.8	47.2	29.6	39.0	18.9
	短大・高専・専門学校	210	34.8	38.1	56.2	38.6	34.8	24.8
	大学・大学院	426	45.1	42.3	54.2	44.4	49.3	24.6
職業	事務職	200	37.5	50.0	53.5	38.5	39.0	19.0
	管理職	74	39.2	32.4	44.6	47.3	45.9	25.7
	専門的・技術職	138	37.7	36.2	54.3	37.0	41.3	21.7
	販売・サービス職	77	45.5	40.3	53.2	42.9	39.0	26.0
	技能・労務職	61	41.0	44.3	39.3	31.1	32.8	18.0
	農林漁業	12	41.7	16.7	25.0	41.7	33.3	16.7
	主婦・主夫	245	36.7	33.1	53.9	35.5	41.6	22.9
	学生	18	44.4	27.8	33.3	33.3	61.1	27.8
	無職	175	38.9	40.6	55.4	39.4	50.9	24.0
	地域	北海道	43	46.5	46.5	53.5	39.5	46.5
東北		71	36.6	43.7	56.3	33.8	42.3	25.4
関東		341	38.4	39.9	51.3	41.3	43.1	24.0
中部		167	36.5	35.9	53.3	37.1	40.7	17.4
近畿		177	40.1	36.2	49.7	36.2	42.4	24.9
中国		58	55.2	46.6	51.7	41.4	39.7	15.5
四国		31	38.7	45.2	58.1	41.9	32.3	22.6
九州		112	30.4	34.8	49.1	33.0	46.4	20.5
参考:2019年11月(総数)		1,000	39.6	49.1	46.7	39.7	42.5	24.8

		総数	その他	無回答
総数		1,000	1.3	2.8
性別	男性	488	1.4	2.5
	女性	512	1.2	3.1
年代	20歳代	120	0.0	0.0
	30歳代	142	0.7	0.0
	40歳代	183	3.3	0.0
	50歳代	156	1.3	0.0
	60歳代	163	1.2	0.0
	70歳代	148	1.4	0.0
	80歳代	88	0.0	31.8
	最終 学歴	中学校	40	2.5
	高等学校	318	2.5	3.5
	短大・高専・専門学校	210	1.0	1.9
	大学・大学院	426	0.5	0.0
職業	事務職	200	1.0	0.0
	管理職	74	0.0	0.0
	専門的・技術職	138	0.7	0.0
	販売・サービス職	77	3.9	0.0
	技能・労務職	61	3.3	0.0
	農林漁業	12	0.0	25.0
	主婦・主夫	245	1.6	4.1
	学生	18	0.0	0.0
	無職	175	0.6	8.6
	地域	北海道	43	0.0
東北		71	1.4	2.8
関東		341	1.8	2.1
中部		167	0.0	3.6
近畿		177	1.7	2.8
中国		58	1.7	0.0
四国		31	3.2	6.5
九州		112	0.9	4.5
参考:2019年11月(総数)		1,000	1.4	0.6

◎ 結論

以下では、調査結果を「台湾に対する親しみ・信頼」、「台湾に対する関心のあり方」、「訪台経験」、「台湾に関する知識」、「日本と台湾の関係」という5つの観点から、2019年11月調査の結果との比較を交えながら考察した。

1 台湾に対する親しみ・信頼

台湾に対して親しみを感じるか聞いたところ、77.6%の者が親しみを感じており¹（問7）、その主な理由としては「台湾人が親切、友好的」が77.8%、「歴史的に交流が長い」が43.4%、「日本語が話せる台湾人が多いから」が35.3%などとなっている（問8）。2019年調査では「東日本大震災時に支援を行ったから」が3位に入っていたが、今回は4位となっており、ほぼ同様の結果であった。台湾人に対する見方に大きな変化はなく、引き続き好意的なイメージで見られているといえる。

一方、親しみを感じない²と答えたのは5.3%だった（問7）。親しみを感じない理由としては、「台湾人観光客のマナーの問題」が32.1%、「領土問題」、「歴史問題」、「台湾人の日本での犯罪問題」が17.0%などとなっている（問9）。「その他」が24.5%と多数であったが、その具体的な内容としては、「関係がない」、「興味がない」、「よく知らない」などとなっている。

信頼感についても「親しみ」と同様の傾向が見られ、67.6%が「信頼できる」³と答えている（問11）。その理由としては、「日本に友好的だから」をあげた者が61.5%と最も多く、次いで「自由・民主主義などの価値観を有している」が60.7%と多かった（問12）。一方、信頼できない⁴と考えている者は1.6%と、2016年調査からの結果では最も少数だった（問11）。

アジア諸国間での位置づけをみるため「台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール・それ以外」を選択肢として、どの国にもっとも親しみを感じるか聞いたところ、「台湾」と答えた者の割合が49.2%と最も高かった（問1）。

総じて、日本人の台湾に対する信頼感、親しみを感じる程度は高く、東アジア諸国間の中でも特に親しみを感じる者が多いことが伺える。これらは2019年調査でもっとも親しみを感じるアジアの国として台湾をあげた者がおよそ5割、「親しみを感じる」が8割近く、「信頼できる」が6割台といずれも多数であったのと同様の傾向であった。2016年調査から通して見ても傾向に大きな変化はなく、安定して親しみ・信頼を得、良好なイメージを保っているといえる。

1 問7：「親しみを感じる」+「どちらかという親しみを感じる」の合計

2 問7：「親しみを感じない」+「どちらかという親しみを感じない」の合計

3 問11：「非常に信頼できる」+「信頼できる」の合計

4 問11：「信頼できない」+「非常に信頼できない」の合計

2 台湾に対する関心のあり方

台湾と聞いて思いつくことを答えてもらったところ、「日本に友好的」をあげた者の割合が最も高く、76.2%だった。続いて「食べ物がおいしい」が50.5%、「日本と歴史的なつながりがある」が41.8%、「観光地が豊富」36.1%の順で、2019年調査でと同順位であった。男性では、「自由・民主主義の国」、「経済が発展している」といった歴史・政治経済に関するイメージもあげている者の割合が高い。今回は、「新型コロナウイルス感染症の拡大を効果的に封じ込めている」をおよそ3人に1人が挙げており、高い関心を集めたことがわかる。

新型コロナウイルスの影響が弱まって出入国制限がなくなったら、という前提ではあるが、今後台湾に「行きたい」と回答した者は約半数の49.9%だった。「行きたくない」と答えた者は16.5%と低かった（問5）。6割近くが「行きたい」と答えた2019年調査と比べるとやや積極性が下がっているように思われるのは新型コロナウイルス感染症の現状に影響されていると考えられるが、それでも約2人に1人が訪台意向を示した。

「行きたい」と答えた者に、台湾のどのような分野に興味があるか聞いたところ、「食文化」をあげた者が8割を超え最も高かった。

興味がある分野の2位は「自然・風土」（54.5%）で、すべての年代で4割以上と興味が高かった。3位は「歴史・史跡・寺廟」（53.1%）で、50歳代以上で5割以上が興味があると答えた。2019年調査で「食文化」が約8割と最も高く、「歴史・史跡・寺廟」、「自然・風土」が続いていたのと同様だった。

全体として、主に食や娯楽面、歴史や風土の面で関心を引いており、約半数が観光意欲を持っていることが分かる。

3 訪台経験

台湾に行ったことがあるか聞いたところ、28.3%の者が「行ったことがある」と回答した。年代別にみると、「行ったことがある」と答えた者の割合は、60歳代以上で3割台と高くなっていた。一方、20歳代から50歳代で「行ったことがある」と答えたのは2割前後となっている（問3）。2019年調査で「行ったことがある」者は26.9%、60歳代以上で3割台と比較的高かったのと同様の傾向であった。

訪台経験のある者に、その回数を聞いたところ、「1回」と答えた者が59.4%、「2回」と答えた者が18.0%、「3回または4回」と答えた者が10.2%、「5回～9回」と答えた者が5.3%、「10回以上」と答えた者が7.1%だった。（問3付問1）。

訪台経験のある者に、台湾を訪れた後の台湾に対する印象の変化をたずねたところ、「良くなった」と回答した者の割合が66.8%、「変わらない」が30.4%で、「悪くなった」は2.8%とわずかだった。（問3付問2）。

訪台経験のある者に、訪れたことのある場所を聞いたところ、「台北」をあげた者の割合が最も高く、96.1%だった。次いで、「高雄」40.3%、「台中」35.7%などとなっており（問4）、2019年調査での上位3位と同様であった。

総合すると、およそ4人に1人が台湾に1度は行ったことがあり、7割が台湾に対する印象が良くなったこと、また、訪台経験者のうちほぼ全員が台北を訪れており、高雄や台中がポピュラーな行先であることが分かる。

4 台湾に関する知識

台湾に関する知識として、「台北駐日経済文化代表処」、「自然災害時等の日台政府トップによるSNSを通じたお見舞い発信」について知っているか聞いた。

台北駐日経済文化代表処を「知っている」と答えた者は6.5%、「聞いたことはあるが、あまり知らない」と答えた者は25.5%、「知らない」と答えた者は67.9%だった。(問14)。2019年調査で「知っている」と答えた者が5.5%、「知らない」と答えた者が71.3%であったのと同様の傾向である。

今年の新型コロナウイルス感染症に関することを含め、近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故が発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っているが、政府のトップもSNSを通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せていることについて知っているか聞いたところ、「知っていた」と答えた者は20.3%、「聞いたことはある程度」と答えた者は34.4%、「知らなかった」と答えた者は45.2%だった(問19)。

台湾に関する情報源について尋ねたところ、「テレビ」を挙げた者が69.7%と最も多く、続いて「インターネット」が48.2%と多数であった(問10)。

テレビで台湾に関する情報を得ている者に、台湾に関する情報源となっているテレビ番組のジャンルを尋ねたところ、「ニュース」を挙げた者が8割と圧倒的に多かった(問10付問)。

今年も、台湾の観光や文化を紹介する番組や報道を見たことがあるか聞いたところ、約4割が「見たことがある」⁵と答えた(問20)

総じて、台湾と日本が相互に助け合うようなポジティブな事柄について、一定の割合で聞いたことがある程度以上の認知がされているといえる。また、台湾に関する情報への接触は主にテレビ、特にニュース番組で目にしていることが分かる。

5 日本と台湾の関係

現在の日本と台湾の関係について聞いたところ、73.6%が「よい」⁶と答えた(問15)。日本と台湾の今後の関係については、「発展する」⁷と答えた者が63.7%だった(問16)。両項目について、年代別にみても「よい」「発展する」という回答が多い傾向に違いはみられない。2019年調査で「よい」が74.9%、「発展する」が57.8%であったのと同じ傾向がみられる。

日台間で最も懸念される問題について聞いたところ、「台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響」と答えた者が37.5%で最も多く、次に「(問題は)ない」と答えた者が22.9%

⁵ 問20:「よく見る」+「ときどき見る」の合計

⁶ 問15:「よい」+「どちらかといえばよい」の合計

⁷ 問16:「発展する」+「ある程度発展する」の合計

が多かった（問 17）。3 位以下は「漁業問題」、「領土問題」、「経済面での競合関係」と続くが、いずれも回答した者の割合は 10%未満となっている。

日本と台湾が力を入れて行うべき交流の分野を聞いたところ、「観光」をあげた者の割合が 61.5%と最も高かった。次いで、「経済」56.7%、「政治、安全保障」39.5%などとなっている（問 21）。2019 年調査の上位は「観光」66.8%、「経済」50.7%、「文化」35.7%となっており、2020 年調査でも概ね同じ順位となった。

政府レベルで行われている青少年の交流事業について促進すべき分野を聞いたところ、「芸術・文化」をあげた者の割合が 51.8%と最も高かった。次いで、「留学生派遣」42.5%、「スポーツ」39.1%などとなっている（問 22）。

全体的にみると、2019 年調査結果にみられた傾向を引き継いでおり、現在の日本と台湾の関係を良好であると捉える者が多数であり、今後についても、「台湾海峡情勢（台湾と中国との関係）による日本への影響」をはじめとする懸念事項はあるものの、多くの者が「関係は発展する」と考える傾向にあることが読み取れる。

6 台湾の新型コロナウイルス感染症対策で印象に残ったこと

台湾の新型コロナウイルス対策で印象に残ったことをたずねたところ、「感染者数と死亡者数が少ない」との回答が約 6 割となり、最も多かった。次いで「感染状況に関する情報公開の徹底」（29.1%）、「台湾の感染症対策の中心となっている中央流行感染症指揮センター」（27.9%）などとなった（問 18）。9 個の選択肢の全てで最低でも 1 割の者が挙げていることから、台湾の感染症対策について多くのことが報道され、多くの日本人が高い関心をもって見聞きしたものと考えられる。

◎ 調査項目一覧

質問	選択肢
<p>問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 台湾 2 中国 3 韓国 4 タイ 5 シンガポール 6 上記以外</p>
<p>【問1で「6 上記以外」と答えた方に】 問1付問 具体的にどの国・地域ですか。</p>	<p>自由回答</p>
<p>問2 あなたが「台湾」と聞いて思いつくことは何ですか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 日本に友好的 2 自由・民主主義の国 3 経済が発展している 4 食べ物がおいしい 5 観光地が豊富 6 日本と歴史的なつながりがある 7 台湾製の商品が良い 8 多くの台湾人観光客が日本を訪れている 9 台湾は多様な文化を有している 10 新型コロナウイルスの感染拡大を効果的に封じ込めている 11 その他</p>
<p>問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 ある 2 ない</p>
<p>【問3で「1 ある」と答えた方に】 問3付問1 あなたは、これまでに何度台湾を訪れましたか。</p>	
<p>【問3で「1 ある」と答えた方に】 問3付問2 台湾に行った後、あなたの台湾に対する印象はどのように変わりましたか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 良くなった 2 悪くなった 3 変わらない</p>

質問	選択肢
<p>【問3で「1ある」と答えた方に】</p> <p>問4 あなたがこれまでに訪れたことのある地域を次の中からすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 台北</p> <p>2 新北</p> <p>3 新竹</p> <p>4 台中</p> <p>5 南投</p> <p>6 嘉義</p> <p>7 台南</p> <p>8 高雄</p> <p>9 屏東</p> <p>10 台東</p> <p>11 花蓮</p> <p>12 台湾本島以外の離島</p> <p>13 その他</p>
<p>問5 今後、新型コロナウイルス感染症の影響が収束し、出入国制限が解除されたら、あなたは台湾に行きたいですか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 行きたい</p> <p>2 どちらともいえない</p> <p>3 行きたくない</p>
<p>【問5で「1行きたい」と答えた方に】</p> <p>問6 台湾のどのような分野に興味がありますか。次の中からあてはまるものをすべてお答えください。 (複数回答可)</p>	<p>1 自然・風土</p> <p>2 政治・経済</p> <p>3 食文化</p> <p>4 歴史・史跡・寺廟</p> <p>5 伝統行事 (ランタンフェスティバルなど)</p> <p>6 ショッピング</p> <p>7 美容・医療 (漢方・鍼灸を含む)</p> <p>8 ポップカルチャー (音楽、映画、マンガ)</p> <p>9 鉄道・交通</p> <p>10 先住民族文化・客家文化</p> <p>11 その他</p>
<p>問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 親しみを感じる</p> <p>2 どちらかという親しみを感じる</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 どちらかという親しみを感じない</p> <p>5 親しみを感じない</p>
<p>【問7で「1親しみを感じる」「2どちらかという親しみを感じる」と答えた方に】</p> <p>問8 親しみを感じる理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 台湾人が親切、友好的</p> <p>2 経済的な結びつきが強い</p> <p>3 文化面での共通性がある</p> <p>4 歴史的に交流が長い</p> <p>5 東日本大震災時に支援を行ったから</p> <p>6 台湾製の商品を愛用しているから</p> <p>7 漢字を使っているから</p> <p>8 日本語が話せる台湾人が多いから</p> <p>9 その他</p>

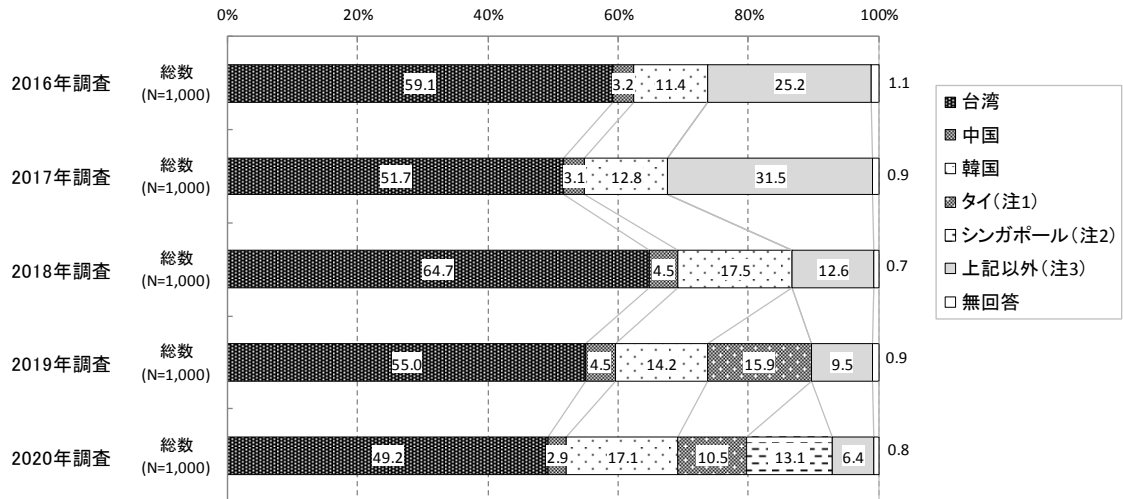
質問	選択肢
<p>【問7で「4どちらか」というと親しみを感じない」「5親しみを感じない」と答えた方に】</p> <p>問9 親しみを感じない理由は何ですか。(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 台湾人の日本での犯罪問題 6 台湾人観光客のマナーの問題 7 その他
<p>問10 台湾に関する情報を、あなたは主にどこから得ていますか。(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 テレビ 2 インターネット(ニュースサイト、YouTube、ブログなど、但しSNSを除く) 3 SNS(Twitter、Facebook、Instagramなど) 4 新聞・雑誌・書籍 5 訪台経験 6 家族・親戚 7 台湾の友人・知人 8 日本の友人・知人 9 学校教育 10 日本での台湾関連の各種イベント 11 その他
<p>【問10で「1テレビ」と答えた方に】</p> <p>問10付問 あなたは、どのような番組で台湾に関する情報を得ていますか。(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ニュース 2 情報番組(ワイドショー) 3 バラエティー 4 世界各地を紹介する番組 5 台湾を紹介する番組 6 台湾のドラマ・映画 7 スポーツ 8 その他
<p>問11 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 非常に信頼できる 2 信頼できる 3 どちらともいえない 4 信頼できない 5 非常に信頼できない
<p>【問11で「1非常に信頼できる」「2信頼できる」と答えた方に】</p> <p>問12 信頼できる理由は何ですか。(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 自由・民主主義などの価値観を有している 2 平和な国だから 3 経済・貿易パートナーだから 4 台湾政府の安全保障政策 5 豊かな伝統文化があるから 6 地理的な近さ 7 歴史的なつながり 8 日本に友好的だから 9 その他

質問	選択肢
<p>【問 11 で「4 信頼できない」「5 非常に信頼できない」と答えた方に】</p> <p>問 13 信頼できない理由は何ですか。 (複数回答可)</p>	<p>1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 知的財産権問題 6 その他</p>
<p>問 14 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 知っている 2 聞いたことはあるが、あまり知らない 3 知らない</p>
<p>問 15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)</p>	<p>1 よい 2 どちらかといえばよい 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば悪い 5 悪い</p>
<p>問 16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)</p>	<p>1 発展する 2 ある程度発展する 3 変わらない 4 ある程度悪化する 5 悪化する 6 わからない</p>
<p>問 17 日本と台湾の間で最も懸念される問題だと思うのはどれですか。 (答えは1つ)</p>	<p>1 漁業問題 2 経済面での競合関係 3 領土問題 4 歴史問題 5 知的財産権問題 6 台湾海峡情勢(台湾と中国との関係)による日本への影響 7 台湾が福島周辺県の食品の輸入を制限している問題 8 その他 9 ない</p>

質問	選択肢
<p>問 18 今年、新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延していますが、台湾では10月末までの国内の感染者数が約555人とどまり、感染拡大を効果的に封じ込めていると日本のメディアも多く報道しています。台湾の新型コロナウイルス感染症対策をめぐり、あなたの印象に残ったことはどのようなことですか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 台湾の感染症対策の中心となっている中央流行感染症指揮センター 2 感染者数と死亡者数が少ない 3 感染状況に関する情報公開の徹底 4 衛生福利大臣（保健相）陳時中（チン・ジチュウ）による対策指揮 5 IT 担当大臣オードリー・タン（唐鳳）の活躍 6 マスク在庫を確認できるアプリ 7 在宅隔離検疫対象者の追跡システム 8 日本を含む世界各国にマスクや医療用ガウン等の医療物資を贈ったこと 9 世界保健機関（WHO）年度大会から排除されていること 10 その他
<p>問 19 今年の新型コロナウイルス感染症に関することを含め、近年、日本と台湾の間では自然災害や大事故などが発生した際に、政府や民間を問わず相互支援を行っていますが、政府のトップも Facebook やツイッター等の SNS を通じて双方の国民に向けたお見舞いや励ましの言葉を寄せています。あなたは、このことを知っていましたか。</p> <p>(答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 知っていた 2 聞いたことはある程度 3 知らなかった
<p>問 20 今年は、台湾の観光や文化を紹介するテレビ・ラジオ番組または新聞・雑誌の報道を見たことがありますか。（答えは1つ）</p> <p>(答えは1つ)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 よく見る 2 ときどき見る 3 あまり見たことがない 4 まったく見たことがない
<p>問 21 日本と台湾が特に力を入れて行うべき交流の分野は何だと思いますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 観光 2 経済 3 文化 4 青少年交流 5 政治、安全保障 6 地方交流 7 その他
<p>問 22 日本と台湾両政府は、相互理解を深めることを目的に、青少年の交流事業を継続して行ってきました。日台青少年交流について、以下のどの分野の交流を特に促進すべきだと思いますか。</p> <p>(複数回答可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 修学旅行 2 スポーツ 3 芸術・文化 4 学校間交流 5 留学生派遣 6 ワーキングホリデー 7 その他

◎ 主要質問時系列グラフ（2016年調査～2020年調査）

問1 次にあげたアジアの国・地域の中で、あなたがもっとも親しみを感じるのはどこですか。（答えは1つ）



(注1) 2019年調査より選択肢を追加

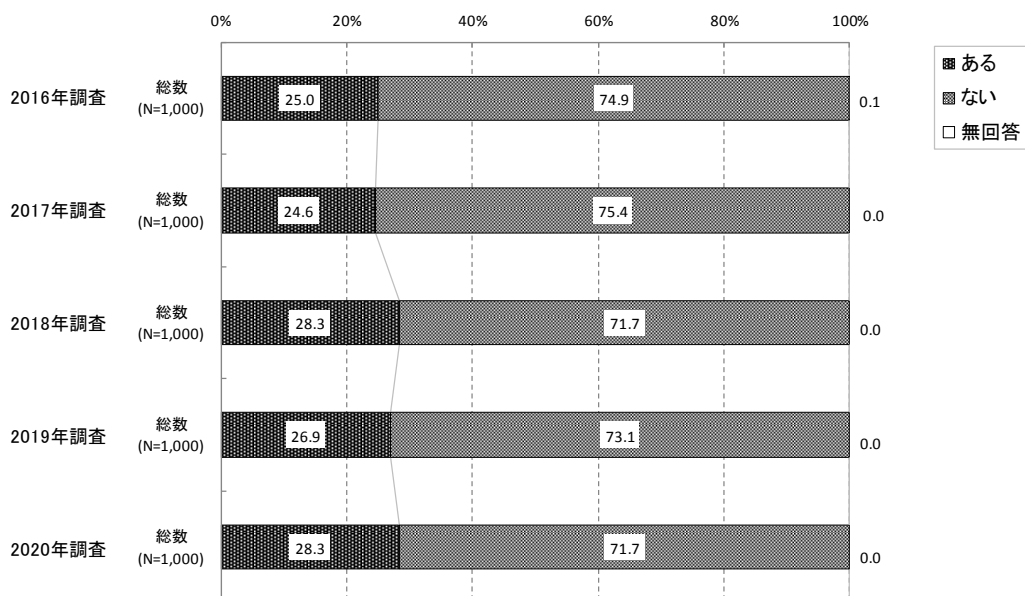
(注2) 2020年調査より選択肢を追加

(注3) 2016年～2018年：上記（台湾・中国・韓国）以外

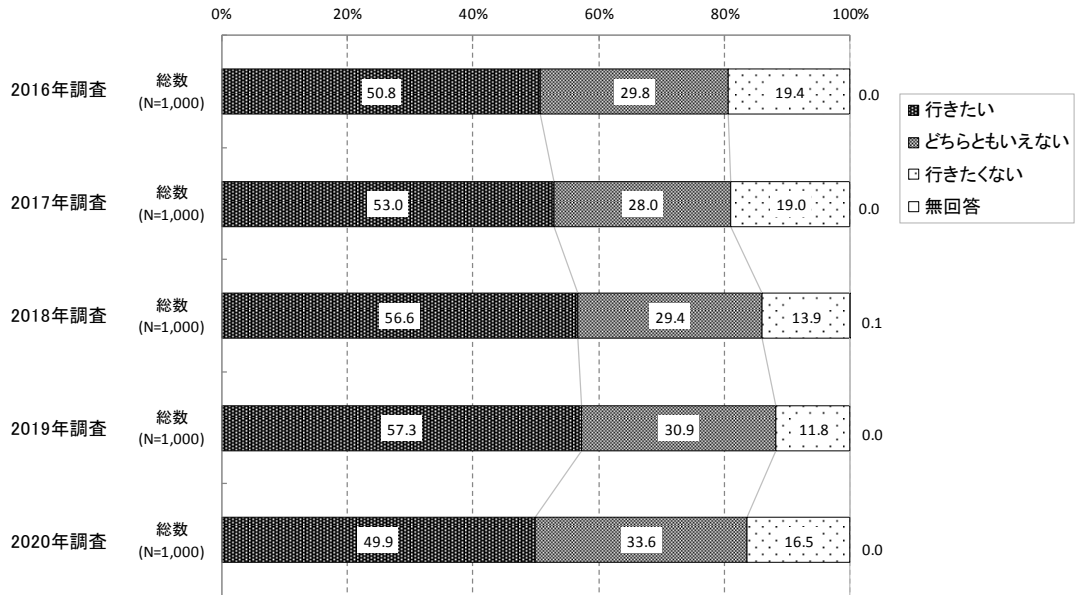
2019年：上記（台湾・中国・韓国・タイ）以外

2020年：上記（台湾・中国・韓国・タイ・シンガポール）以外

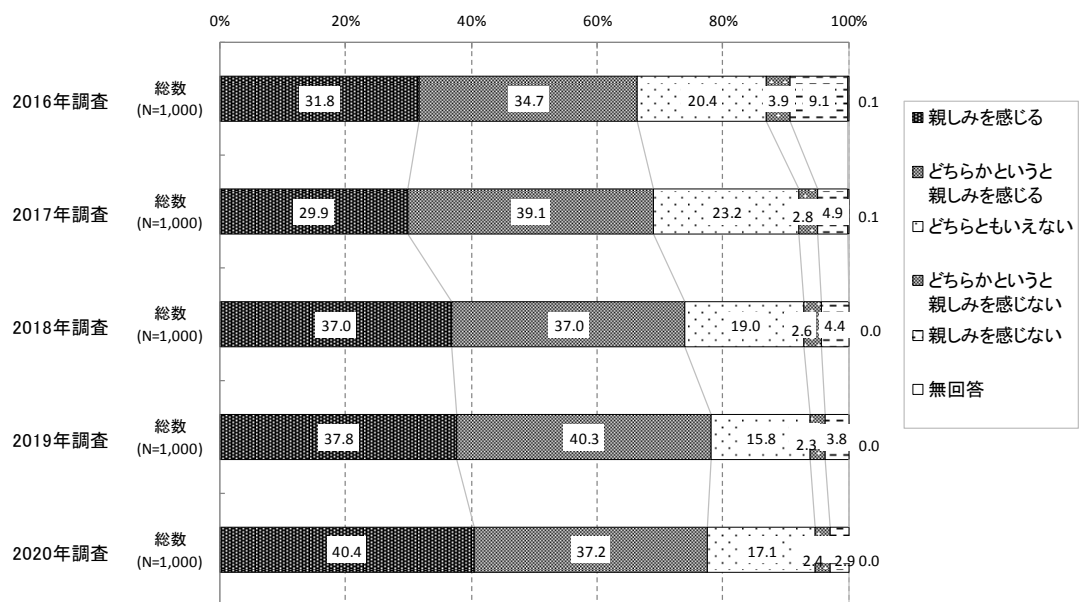
問3 あなたは、これまでに台湾に行ったことがありますか。（答えは1つ）



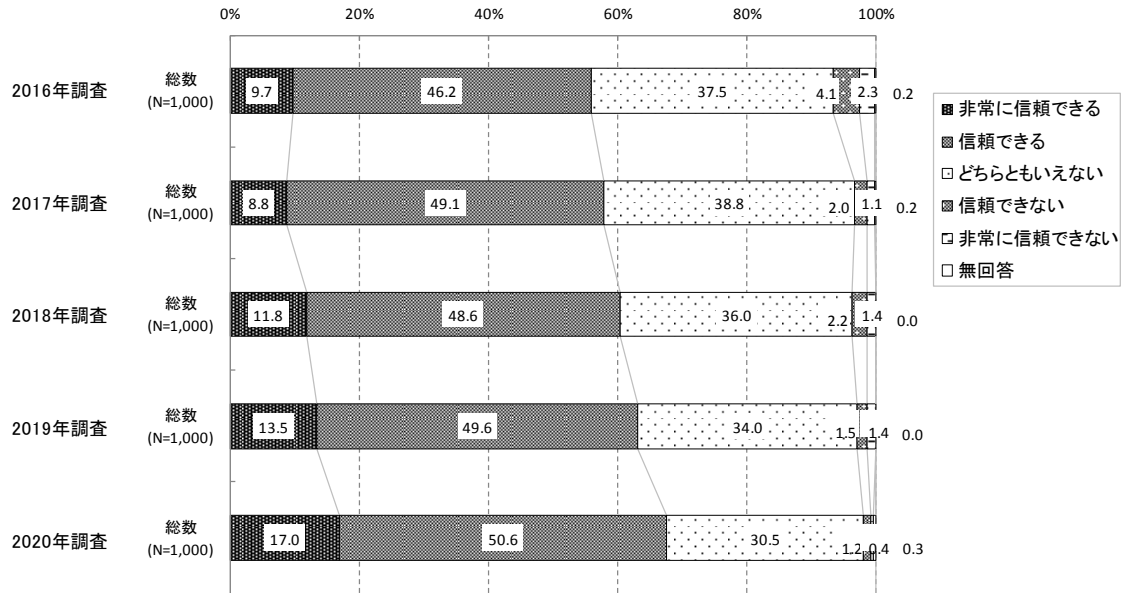
問5 今後台湾に行きたいですか。(答えは1つ)



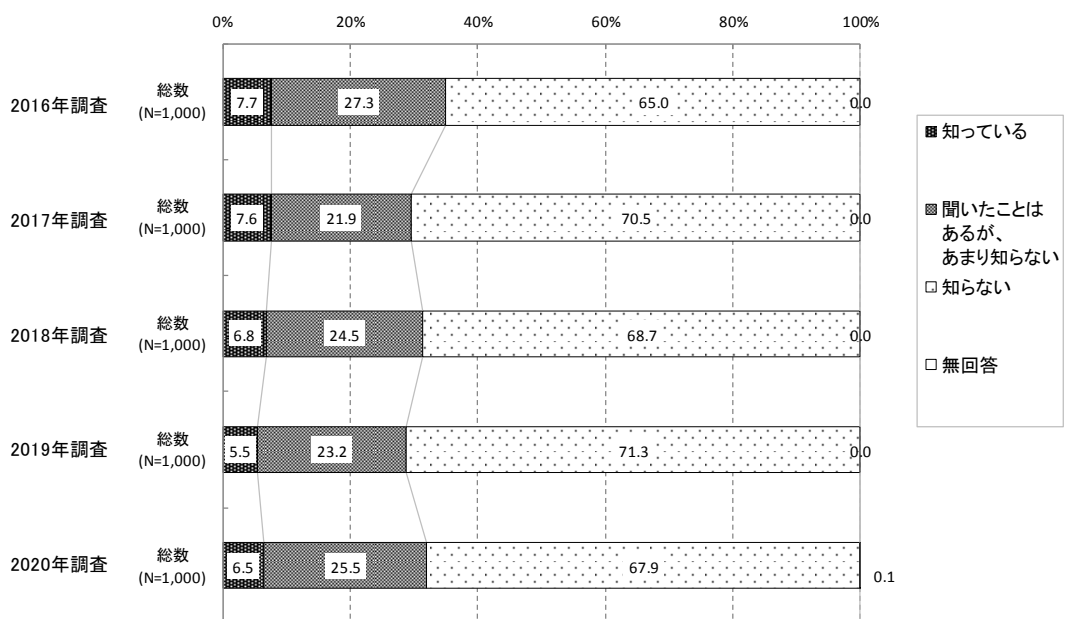
問7 あなたは、台湾に親しみを感じますか。(答えは1つ)



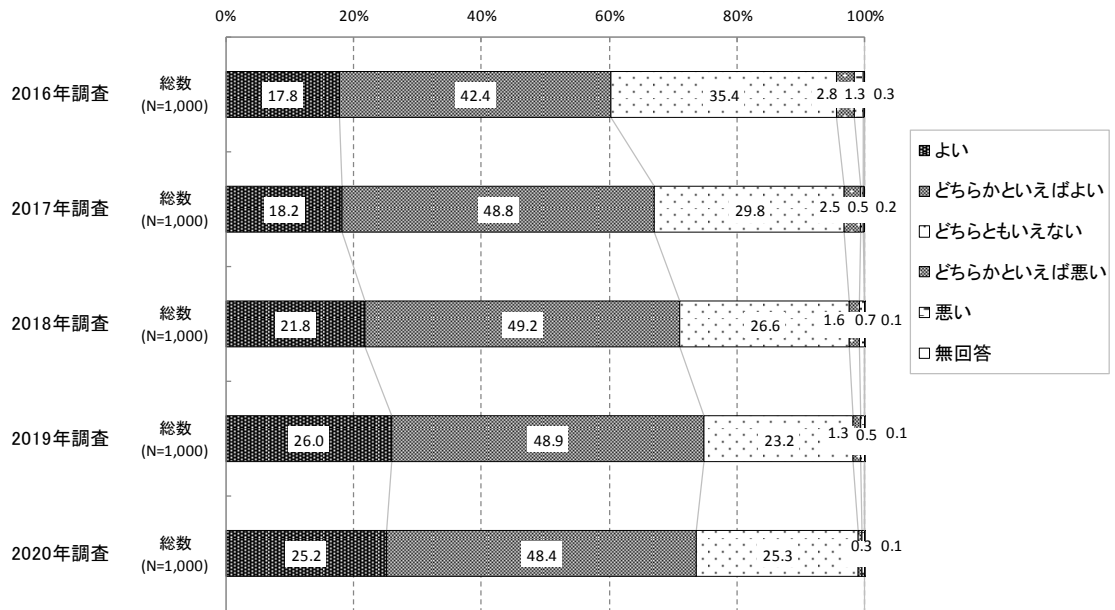
問 1 1 あなたは、台湾は信頼できると思いますか。(答えは1つ)



問 1 4 日本と台湾の交流における台湾側の窓口機関である「台北駐日経済文化代表処」を知っていますか。(答えは1つ)



問15 あなたは、現在の日本と台湾の関係をどう思いますか。(答えは1つ)



問16 あなたは、日本と台湾の関係は将来どうなると考えますか。(答えは1つ)

